

令和6年度

教育委員会 点検と評価
報告書

加東市教育委員会

目 次

1	本報告書について	1
2	教育委員会の活動及び運営状況	
	(1) 教育委員会委員	1
	(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等	1
	(3) 教育委員会以外の主な活動状況	5
3	基本理念と施策体系	6
4	令和6年度 主要事業の点検と評価	9
	基本方針Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～	
	基本的方向(1)「確かな学力」の育成	10
	基本的方向(2)夢や志を持ち挑戦する力の育成	14
	基本的方向(3)「豊かな心」の育成	17
	基本的方向(4)「健やかな体」の育成	21
	基本的方向(5)インクルーシブ教育の充実	25
	基本的方向(6)幼児教育の充実	27
	基本方針Ⅱ 子どもの学びを支える教育環境の整備	
	基本的方向(1)学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	30
	基本的方向(2)家庭・地域力を生かした教育の充実	34
	基本的方向(3)学校施設の整備と就学支援	40
	基本方針Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	
	基本的方向(1)多様な学習機会の充実	43
	基本的方向(2)人権教育・啓発の推進	46
	基本的方向(3)文化芸術の振興	48
	基本的方向(4)文化財の保護と活用・継承	50
	基本的方向(5)生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	52
	基本的方向(6)社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営	55
	基本的方向(7)図書館サービスの充実	56
5	評価委員所見	58

※ 「9 実施計画と指標」において、「小学校」には「義務教育学校前期課程」を、「中学校」には「義務教育学校後期課程」を含みます。
また、取組の内容や指標についても、対象としている小学校または中学校の学年には、義務教育学校における該当する学年を含みます。
(例：「児童生徒アンケート(市) 対象：小6、中3」には、義務教育学校6年生、9年生を含みます。)

1 本報告書について

教育委員会が行う事務の管理及び執行状況については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条により、毎年、点検及び評価を行い、その内容を議会に提出し、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価は、教育委員会の権限に属する事務が対象となりますが、この点検及び評価については、「第3期加東市教育振興基本計画（以下、「第3期基本計画」という。）」の評価・見直しとしても位置付けており、第3期基本計画に基づく取組についても点検及び評価を実施することとします。

なお、点検及び評価については、自己評価を行った上で、外部有識者の意見聴取会を実施しました。外部有識者の所見は、本報告書に記載しています。

2 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会委員

区 分	氏 名	任 期
教 育 長	藤 原 路 寛	令和6年5月27日～令和9年5月26日
	藤 原 哲 史	令和4年6月28日～令和6年5月26日
教育長職務代理者	田 中 寿 一	令和3年5月27日～令和7年5月26日
委 員	後 藤 純 子	令和2年5月27日～令和6年5月26日 令和6年5月27日～令和10年5月26日
	岸 本 恵 一	令和5年5月27日～令和9年5月26日
	別 惣 裕美子	令和4年6月28日～令和8年5月26日

(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等

○第1回定例教育委員会（4月23日）

番 号	案 件 名
第1号議案	社学園の校歌について
第2号議案	教育委員会附属機関等の委員委嘱の件
協議事項1	加東市体育施設条例の一部改正について
そ の 他	令和5年度教育委員会点検と評価
	令和6年度新規主要事業について
	附属機関等委員の委嘱及び解嘱について
	加東市小中学校給食費支援金交付要綱の一部改正について
	小中一貫校整備状況について
	加東市スクールロイヤー配置事業実施要領
	令和6年度学習検定（「漢検」「算検」）チャレンジ事業実施要綱 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可2件

○第2回定例教育委員会（5月27日）

番 号	案 件 名
第3号議案	令和7年度使用加東市立学校における教科用図書採択要領の制定について
第4号議案	加東市特別支援教育就学奨励費に関する規則制定の件
協議事項2	加東市社地域小中一貫校建設工事変更請負契約締結について
協議事項3	加東市立社中学校校舎長寿命化改修工事請負契約締結について
協議事項4	加東市立学校設置に関する条例の一部改正について
そ の 他	令和6年度加東市一般会計補正予算（第1号）について
	小中一貫校整備状況について
	滝野中学校及び滝野地域小中一貫校新制服・体操服等について
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	加東市社地域新設アフタースクール建設工事契約締結について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可2件

○第3回定例教育委員会（6月25日）

番 号	案 件 名
第5号議案	教育委員会附属機関等委員の委嘱の件
第6号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について
協議事項5	生徒指導報告について
そ の 他	小中一貫校整備状況について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可16件

○臨時教育委員会（7月18日）

番 号	案 件 名
第7号議案	令和7年度使用教科用図書採択の件

○第4回定例教育委員会（7月29日）

番 号	案 件 名
第8号議案	加東市滝野公民館の臨時休館の件
第9号議案	加東市滝野複合施設の臨時開館の件
第10号議案	加東市地域交流センターの臨時休館の件
第11号議案	加東市立図書館協議会委員の任命の件
そ の 他	小中一貫校整備状況について

	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 10 件
--	----------------------------

○第 5 回定例教育委員会（8 月 29 日）

番 号	案 件 名
第 12 号議案	教育委員会附属機関等の委員委嘱の件
協議事項 6	令和 5 年度教育に関する決算について
協議事項 7	加東市社地域小中一貫校既存校舎棟ほか一般備品購入について
そ の 他	9 月補正予算について
	附属機関等委員の委嘱について
	加東市立認定こども園条例の一部改正及び加東市立へき地保育所条例の廃止について
	小中一貫校整備状況について
	滝野地域小中一貫校愛称募集について
	令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果について
	不登校児童生徒が相談・指導を受ける民間施設について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 10 件

○第 6 回定例教育委員会（9 月 24 日）

番 号	案 件 名
第 13 号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について
第 14 号議案	加東市中央図書館の臨時休館及び加東市滝野図書館の臨時開館の件
第 15 号議案	令和 6 年度加東市中央図書館及び東条図書館の臨時休館日の取り消しの件
第 16 号議案	教育委員会附属機関等の委員委嘱の件
第 17 号議案	教育委員事務局職員の任免の件（非公開）
協議事項 8	加東市立社中学校校舎長寿命化改修工事変更請負契約締結について
そ の 他	9 月補正予算（第 4 号）について
	附属機関等委員の委嘱について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 6 件

○第 7 回定例教育委員会（10 月 30 日）

番 号	案 件 名
第 18 号議案	加東市スクールバス運行に関する要綱の一部を改正する告示制定の件
第 19 号議案	加東市滝野図書館の臨時開館日の取り消しの件

そ の 他	11月補正予算（第6号）について
	加東市社会教育振興費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可9件

○第8回定例教育委員会（11月28日）

番 号	案 件 名
第20号議案	滝野地域小中一貫校の愛称を定める件
第21号議案	加東市青少年活動助成金交付要綱を廃止する告示の件
そ の 他	12月補正予算（第7号）について
	加東市社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部改正について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可2件

○第9回定例教育委員会（12月24日）

番 号	案 件 名
第22号議案	加東市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係規則の整理に関する規則制定の件
第23号議案	加東市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定の件
第24号議案	加東市立学校の校区外・区域外就学許可基準の変更について
第25号議案	加東市学校給食センター規則の一部を改正する規則制定の件
第26号議案	加東市立図書館の臨時開館及び臨時休館の件
そ の 他	12月補正予算（第8号）について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可10件

○第10回定例教育委員会（1月28日）

番 号	案 件 名
第27号議案	加東市社公民館の臨時開館の件
第28号議案	加東市文化芸術賞賜金支給要綱及び加東市教育委員会医療的ケア運営協議会設置要綱の一部を改正する告示制定の件
そ の 他	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可4件

○第11回定例教育委員会（2月27日）

番 号	案 件 名
第29号議案	加東市公民館規則等の一部を改正する規則制定の件
第30号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について
第31号議案	加東市立小中学校、義務教育学校の学校医の解嘱及び委嘱の件

第 32 号議案	加東市立小中学校、義務教育学校の学校歯科医の解嘱及び委嘱の件
第 33 号議案	教育委員会事務局職員の任免の件（非公開）
第 34 号議案	加東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定の件
協議事項 9	加東市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
協議事項 10	加東市閉校施設条例の制定について
協議事項 11	加東市立学校施設使用条例の一部を改正する条例制定について
協議事項 12	教育に関する予算について
そ の 他	3月補正予算（第9号）について
	加東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び加東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 7 件

○第 12 回定例教育委員会（3月 25 日）

番 号	案 件 名
第 35 号議案	加東市立小中学校、義務教育学校の学校薬剤師の解嘱及び委嘱の件
第 36 号議案	加東市立学校に配置する会計年度任用職員に関する規程の一部を改正する訓令制定の件
第 37 号議案	加東市スクールバス運行に関する要綱の一部を改正する告示制定の件
第 38 号議案	加東市鴨川地域等スクールバス運行に関する要綱を廃止する告示制定の件
第 39 号議案	教育委員会附属機関等の委員委嘱の件
第 40 号議案	教育委員会事務局職員の任免の件（非公開）
第 41 号議案	加東市閉校施設規則制定の件
そ の 他	不登校児童生徒が相談・指導を受ける民間施設について
	附属機関等委員の委嘱について
	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 6 件

(3) 教育委員会以外の主な活動状況

教育委員会委員は、教育委員会への出席以外に次の行事等に出席しました。

○市議会

- ・本会議（教育長）
- ・予算特別委員会、決算特別委員会、各常任委員会等（教育長）

○総合教育会議（第 1 回：7 月 29 日、第 2 回：1 月 21 日）

○学校訪問（6 月 27 日、7 月 1、8、11、16 日）

○各種学校行事

- ・加東市立園入園式（4月5日）
- ・加東市立小学校、中学校、義務教育学校入学式（4月9日）
- ・小学校・義務教育学校PTA総会（4月20日）
- ・中学校PTA総会（4月27日）
- ・学校オープン：6月（10校）、10月（3校）、11月（6校）、1月（7校）
- ・小学校・義務教育学校運動会（9月28日、10月26日）
- ・中学校体育大会（9月14日）
- ・小学校、中学校、義務教育学校発表会
- ・小中学校卒業証書授与式（小学校3月21日、中学校・義務教育学校3月15日）
- ・校長会（教育長）

○各種会議及び研修会

教育長協議会

- ・第1回兵庫県都市教育長協議会（5月29日・朝来市）
- ・第2回兵庫県都市教育長協議会（10月29日・宍粟市）

教育長会議

- ・市町組合教育委員会教育長会議（4月15日・神戸市）
- ・播磨東地区教育長会議（7月10日・加古川市）
- ・播磨東教育長会・地区教育委員会連合会合同研修会（11月21日、明石市）

市町村教育委員会連合会

- ・兵庫県市町村教育委員会連合会理事会・定期総会・研修会（5月16日・姫路市）
- ・全県夏季教育委員会研修会（8月22日～23日・神戸市）
- ・播磨東地区教育委員会連合会理事会・総会・研修会（7月24日・明石市）

研修大会

- ・令和6年度近畿市町村教育委員会研修大会（11月13日・オンライン会議）

○その他行事等

- ・加東市二十歳の集い（1月12日）
- ・各種市内イベント・大会及び研修会等

3 基本理念と施策体系

基本理念を「人間力の育成」とし、「豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東」の実現をめざすため、3つの基本方針に基づいて、16の基本的方向に向かって、それぞれの施策における取組を進めています。

「人間力の育成」

～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

【めざす人間像】

- 夢や志を持ち、生涯を通じて学び続け、自立し力強く生きる人
- ふるさと加東を愛し、共に支え合いながら、未来を切り拓いていく人

基本方針

基本方針Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進
～学びの連続性を大切にした教育の充実～

基本方針Ⅱ 子どもの学びを支える教育環境の整備

基本方針Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進

基本方針

Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進（学びの連続性を大切にした教育の充実）

基本的方向

(1) 「豊かな学力」の育成

(2) 夢や志を持ち挑戦する力の育成

(3) 「豊かな心」の育成

(4) 「健やかな体」の育成

(5) インクルーシブ教育の充実

(6) 幼児教育の充実

施策

①地域の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施

②学力向上をめざす取組の充実

③英語教育の充実

④情報教育の充実

①キャリア教育の充実

②ふるさと学習の推進

③子どもの主体性・創造性を高める活動の充実

①「豊かな心」を育む体験活動の充実

②道徳教育の充実

③人権教育の充実

④防災教育の充実

①体力・運動能力向上をめざす取組の充実

②健康・安全教育の充実

③食育の推進

①教育相談の充実

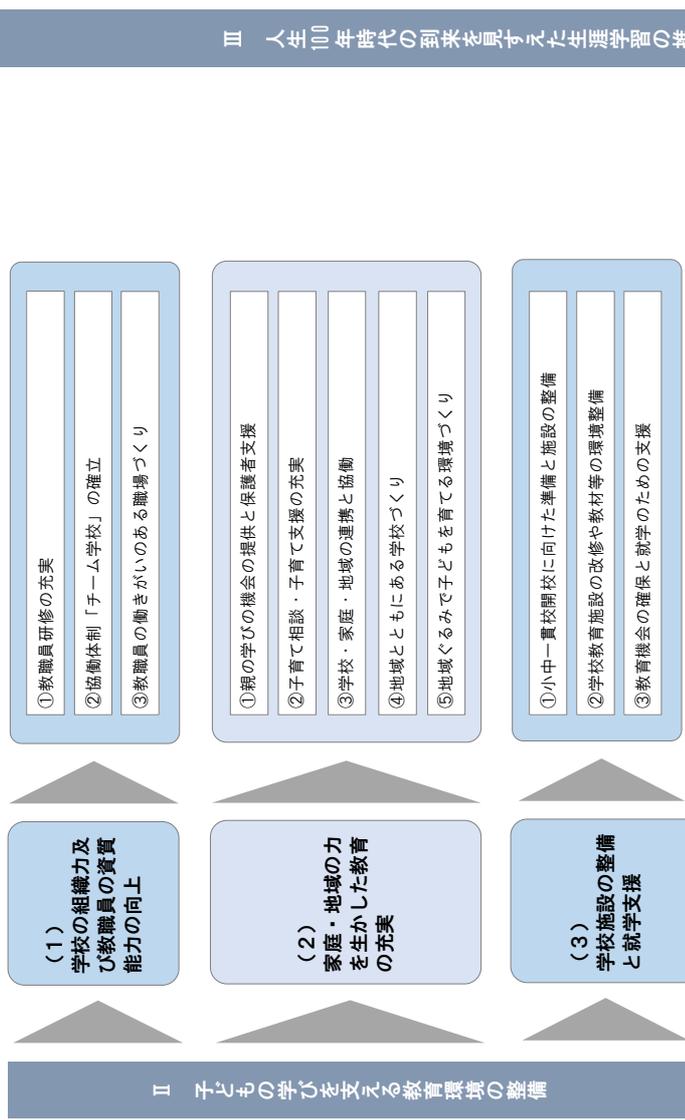
②支援体制の充実

①就学前教育・保育の提供体制の確保

②思いやりの心を育む幼児期の教育の充実

基本方針

基本方針



基本的方向

(1) 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

(2) 家庭・地域の力を生かした教育の充実

(3) 学校施設の整備と就業支援

施策

- ①教職員研修の充実
- ②協働体制「チーム学校」の確立
- ③教職員の働きがいのある職場づくり

- ①親の学びの機会の提供と保護者支援
- ②子育て相談・子育て支援の充実
- ③学校・家庭・地域の連携と協働
- ④地域とともにある学校づくり
- ⑤地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり

- ①小中一貫校開校に向けた準備と施設の整備
- ②学校教育施設の改修や教材等の環境整備
- ③教育機会の確保と就学のための支援

基本的方向

(1) 多様な学習機会の充実

(2) 人権教育・啓発の推進

(3) 文化芸術の振興

(4) 文化財の保護と活用・継承

(5) 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進

(6) 社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営

(7) 図書館サービスの充実

施策

- ①ライフステージに応じた学びの充実
- ②学習活動の支援と担い手の育成

- ①地域社会における人権教育・啓発の推進
- ②職場における人権教育・啓発の推進

- ①文化芸術活動の継承・創造
- ②文化芸術団体への支援

- ①文化財等の保存と活用
- ②加古川流域・瀬野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の活用や運営
- ③歴史文化に根差した地域の活性化

- ①生涯スポーツの振興とコミュニティづくりの支援
- ②スポーツ団体の支援
- ③スポーツ等指導者の育成

- ①施設の適切な維持管理・運営

- ①魅力ある蔵書の整備と情報発信
- ②図書館利用の推進

4 令和6年度 主要事業の点検と評価

第3期基本計画の施策ごとに、令和6年度の取組内容について点検し、その成果と課題を明確にするとともに、16の基本的方向ごとに設定した成果指標と取組指標の達成状況から、下記の基準で総合的に評価しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標の実績数値は黄色に塗りつぶしています。

【基本的方向ごとの総合評価】

総合評価	評価の基準（成果指標の目標値達成状況）
A	すべての成果指標について、当該年度の目標値を達成。
B	当該年度の目標値を達成した成果指標の数が、半数以上。 もしくは、達成数は1以上半数以下であるが、上昇傾向（改善傾向）の成果指標の数が過半数。
C	当該年度の目標値を達成した成果指標の数が、1つ以上半数未満。 もしくは、すべて目標値に到達していないが、上昇傾向（改善傾向）の成果指標の数が半数以上ある。
D	すべての成果指標について、当該年度の目標値を未達成（Cに該当する場合は除く）。

※ 成果指標の目標値を設定していない年度の評価については、取組指標の達成状況により評価する。ただし、取組指標をすべて達成しても「B」、過半数の達成で「C」、それ以外は「D」とする。

※ 成果指標の設定数が1項目の総合評価は、目標値を達成していないが、上昇傾向（改善傾向）にある場合は「B」とする。

なお、成果指標の達成状況は、該当する年度の目標値と比較し、下記のように達成状況を示します。

【成果指標達成状況】

達成状況	評価の基準
☆	該当する年度における目標値を大きく上回った（改善した）。
◎	該当する年度における目標値を達成した。
↗	該当する年度における目標値を達成できなかったが、前年度と比較し上昇傾向（改善傾向）にある。
→	該当する年度における目標値を達成できず、前年度と変わらない。
↘	該当する年度における目標値を達成できず、前年度と比較し減少傾向（悪化傾向）にある。

※ 前年度と比較する場合において、本実施計画年度の初年度は基準値と比較する。

基本方針Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～

基本的方向（１）「確かな学力」の育成

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（１）「確かな学力」の育成		総合評価		B		
●学校の授業がわかると答える児童生徒の割合【肯定的回答】 (児童生徒アンケート(市)対象：小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		84.0	85.0	86.0	87.0	88.0
実績(%)	82.9	93.1	92.2	90.1	88.4	
達成状況		☆	◎	◎	◎	
●学校の授業以外で、平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象：小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		74.0	75.0	76.0	77.0	78.0
実績(%)	73.1	70.4	71.2	59.4	61.8	
達成状況		↘	↗	↘	↗	
●英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合 (英語教育実施状況調査(文部科学省)対象：中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		53.0	56.0	58.0	59.0	60.0
実績(%)	46.0	48.3	52.7	47.2	45.9	
達成状況		↗	↗	↘	↘	
●収集した情報を整理して、発表資料を作成することが得意であると答える児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象：小6、中3)						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		30.0	35.0	40.0	45.0	50.0
実績(%)	25.6	28.0	26.3	25.6	30.5	
達成状況		↗	↘	↘	↗	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	I - (1) - ①	担当課	学校教育課・小中一貫教育推進室
施策	①地域の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施		
取組	取組1 カリキュラムの実践と公開		
	取組2 カリキュラムの改訂		
	取組3 乗り入れ授業		
令和6年度の取組内容	小中一貫教育教科カリキュラムに基づいた授業づくりを促進させるために、引き続き、相互乗り入れ授業や出前授業の成果を教職員へ周知するとともに、グランドデザインやカリキュラムの改訂を行った。		
令和6年度の取組成果	小中一貫教育教科カリキュラムに基づき、乗り入れ授業や出前授業を行うことで、小学校と中学校の系統性・連続性を意識した授業研究が深まるとともに、多くの6年生児童の中学校生活への不安を取り除く一因とすることができた。		
令和7年度の課題	出前授業や乗り入れ授業を充実させるため、滝野地域において小中合同研修を実施し、児童生徒を相互に理解する機会を増やし、発達段階を意識した効果的な指導につなげるようにする。		

施策体系コード	I - (1) - ②	担当課	学校教育課
施策	②学力向上をめざす取組の充実		
取組	取組1 授業改善及び教員の指導力向上		
	取組2 一人1台パソコンを活用した「児童生徒一人ひとりに合った学び」の実現		
	取組3 学習習慣の定着と家庭学習の充実		
令和6年度の取組内容	<p>各学校において、全国学力・学習状況調査及び市独自の総合学力調査の結果を分析して、課題を克服するための手立てについて協議した。学力向上プロジェクト委員会では、小中学校の教職員が一つになって、課題を踏まえた授業改善に取り組んだ。滝野南小学校は、「活用・表現力」の育成に向けた国語科授業改善事業（兵庫県教育委員会指定（2年間））を受け、「情報を活用し、表現する子 ～関係づけて考え合う授業をつくる～」をテーマに研究発表を行い、授業改善の成果を発表した。また、東条学園小中学校は、学校経営研究（加東市教育委員会指定（3年間））「主体的に関わり学び合う学園生の育成」をテーマに研究発表を行い、小中一貫教育の成果を発表した。</p> <p>加東市独自の総合学力調査を小学3年生から中学2年生を対象に実施し、その結果を復習や発展学習に活用した。また、個別最適な学習を推進するために、一人1台パソコンを活用して、復習や発展学習に取り組んだ。また、自主的な家庭学習、学習習慣の定着を図るため、長期休業中のスタディライフや放課後学習を実施した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>学力向上プロジェクト委員会を3回行い、各校の課題を踏まえた改善点を市全体で共有した。市独自の総合学力調査では、同一母集団の学力向上を示す数値の向上が見られた。引き続き、成果が見られた取組事例を共有して、学力向上に向けた授業改善に取り組むことを確認した。また、児童生徒が自身の苦手分野等を確認して、復習や得意分野を伸ばす発展学習に取り組んだ。特に、「学習検定チャレンジ事業」では、漢字検定・算数検定の検定料を助成し、受験機会を確保することで、児童の学習意欲を喚起し、挑戦する気持ちを高めることに役立った。</p> <p>長期休業中のスタディライフに参加した児童生徒について、家でも自主学習をしたいと約9割の児童生徒が回答し、家庭学習の意欲向上が見られた。</p>		

令和7年度の課題	<p>全国学力・学習状況調査及び加東市総合学力調査の結果分析を踏まえた授業改善を継続し、児童生徒の学力向上を図る。併せて、各教科の授業が好きになり、楽しみながら学習できる授業づくりについて研究を継続するとともに、「学習検定チャレンジ事業」の対象を中学生に拡大し、挑戦する気持ちを高める。</p> <p>総合学力調査結果後の個別最適な学びを充実させるため、2月からの補充・発展学習の方法を研究する。また、各学年の学習課題や手立てについては、次の学年に引き継ぎ、系統立てた学習を行う。</p>
----------	--

施策体系コード	I - (1) - ③	担当課	学校教育課
施策	③英語教育の充実		
取組	取組1 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育む活動の推進 取組2 コミュニケーション能力を育む英語授業の充実		
令和6年度の取組内容	<p>「わくわく英語村」では、ALT や友達とのコミュニケーションに重点を置いたアクティビティや作品・発表等の成果物を伴う活動を実施することで、英語で楽しくコミュニケーションが取れるようにした。ジョリーフォニックス指導の充実や小中連携の授業研修、かとう英語ライセンス制度や GTECJunior の効果的な活用研修を行うことで、授業改善に努め、児童生徒の英語力を高めるよう指導に取り組んだ。積極的に英語検定にチャレンジできるようにするため、年度当初に各自で目標を決め計画的に取り組んだ。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>「わくわく英語村」を3日間実施し、延べ54名の中学生が参加した。活動は、オールイングリッシュで臨み、ALT や友達とアクティビティを通して、積極的に英語でコミュニケーションを取ることができた。授業研修には、ALT も参加し、講義だけでなく、演習を多く取り入れた内容を実施することで、実践的な指導力向上を図った。英語検定チャレンジ事業を利用する生徒の割合は、88.8%となり、生徒にも積極的にチャレンジする意識が定着し、年々増加傾向にある。</p>		
令和7年度の課題	<p>英語活動へ意欲的・主体的に取り組む、英語が好きになる授業づくりを研究するとともに、中学校の英語教育へスムーズに移行できるよう、小学校段階におけるジョリーフォニックスの指導を拡充する。また、中学校においては英語力向上のために、加東市独自のレッスンの効果的な活用や、「かとう英語ライセンス制度」の取組を充実させる。</p>		

施策体系コード	I - (1) - ④	担当課	学校教育課
施策	④情報教育の充実		
取組	取組1 児童生徒一人1台パソコンの活用 取組2 情報モラル教育の推進		
令和6年度の取組内容	<p>ICTを活用した協働的な学び、個別最適な学びの推進に向けて、新たに導入した授業支援アプリ・学習アプリを活用するため、講師を招聘し、市内研修会や各学校での研修会を実施し、効果的な活用を進めた。</p> <p>発達段階に応じた ICT 機器の活用、情報モラルの指導を小中連携して取り組むために、市の情報教育指導計画の見直しを行い、教職員へ周知した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>各校に配置されたICT支援員による導入アプリの操作方法及び効果的な活用について研修を行うとともに、ICT支援員とのチームティーチングにより、ICTを活用した授業実践に積極的に取り組むことができた。研究指定校においては、講師を招聘し、授業支援アプリ・学習アプリの効果的な活用について研修を行った。</p>		

	市の情報教育指導計画をもとに、小中連携した計画的な指導を行うために、社・滝野・東条の各中学校区において、学校ごとの情報教育指導計画を作成した。
令和7年度の課題	ICTを活用した協働的な学び、個別最適な学びを進めるため、研究指定校を指定し、学習アプリの効果的な学習について引き続き研究を行う。また、児童生徒の情報活用能力を高めたり、児童生徒が主体となったスマートフォンやSNS等の利用について、各学校の実態に応じた情報モラル学習を行ったりするなど、各校の情報教育指導計画に基づき、発達段階に応じて計画的に指導を行う。

3 取組指標の達成状況

施策体系コード I－(1)－②		校内授業検討会を実施した1校あたりの回数 (学校アンケート(市))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(回)		5	5	25	25	25
実績(回)	—	5	6	24	25.8	
施策体系コード I－(1)－③		英検検定料助成を利用した中学生の割合 (実用英語技能検定(英検))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		58.0	61.0	64.0	67.0	70.0
実績(%)	55.3	57.3	68.2	86.2	88.8	
施策体系コード I－(1)－④		一人1台パソコンを活用した教科数 (学校アンケート(市))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値 (教科数)		全教科	全教科	全教科	全教科	全教科
実績 (教科数)	—	全教科	全教科	全教科	全教科	

基本的方向（２）夢や志を持ち挑戦する力の育成

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（２）夢や志を持ち挑戦する力の育成		総合評価		B		
●将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		64.0	66.0	68.0	70.0	72.0
実績(%)	62.1	52.1	39.3	42.3	47.9	
達成状況		↘	↘	↗	↗	
●ふるさと学習を通じて、ふるさとを大切にしたいという気持ちが芽生えた児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小3、小4)						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		88.0	89.0	90.0	91.0	92.0
実績(%)	87.9	85.7	82.9	82.6	83.1	
達成状況		↘	↘	↘	↗	
●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		21.0	24.0	26.0	28.0	30.0
実績(%)	18.1	36.9	24.2	32.9	29.4	
達成状況		☆	◎	◎	◎	
●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとしている児童・生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (平成29年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		35.0	37.0	39.0	42.0	45.0
実績(%)	32.6	28.7	21.4	28.7	29.6	
達成状況		↘	↘	↗	↗	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	I - (2) - ①	担当課	学校教育課
施策	①キャリア教育の充実		
取組	取組1 キャリア発達を促す取組の充実		
	取組2 社会に触れる機会の充実		
令和6年度の取組内容	<p>「かとう夢授業」として、専門の外部講師を招聘し、プロフェッショナルの高度な技能を授業等に取り入れ、児童生徒の夢に向かう力を育む機会を拡充した。</p> <p>トライやる・ウィークでは、生徒の希望に沿った事業所の確保に努め、登録事業所が増加した。事業所で5日間、体験活動を実施した。</p> <p>キャリアノートを活用し、キャリアパスポートを小学校から中学校、高等学校へ引き継いだ。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>小学校の図画工作の授業では大学教授を、理科の授業では JAXA 関連団体の講師を招き、専門的な技能や知識に触れ、児童の興味関心を高めることができた。特に、理科では移動プラネタリウムの学習を増やし、さらに、親子学習として、手作り望遠鏡作成による親子星空観測会を行った。また、中学校では部活動においては、プロスポーツ選手等の招聘により、直接指導や講話を受けることで、技術の向上を実感し、生徒の可能性を広げることができた。</p> <p>トライやる・ウィークでは、事業所の理解と協力により、人や社会とのつながりを再認識するとともに、今後の自分の生き方や働くことの意義について考えることができた。「働くことの大切さ、厳しさ、楽しさ」を感じた生徒の割合が88.5%とやや上昇した。(R5年度 86.0%)</p>		
令和7年度の課題	<p>「かとう夢授業」については、引き続き、専門の外部講師を招聘し、プロフェッショナルの高度な技能を授業等に取り入れ、児童生徒の夢に向かう力を育む機会をつくる。</p> <p>トライやる・ウィークでは、新規事業所の開拓に向け、地域と連携するとともに、事業所を介した活動により社会と主体的につながる機会を設定する。また、生徒への事前事後指導を計画的に実施し、より充実した事業所活動により、自分らしい生き方を考えるようにする。</p>		

施策体系コード	I - (2) - ②	担当課	学校教育課・小中一貫教育推進室
施策	②ふるさと学習の推進		
取組	取組1 ふるさと学習「かとう学」の実践		
	取組2 ゲストティーチャーの積極的活用		
令和6年度の取組内容	<p>ふるさと学習「かとう学」副読本を活用した「副読本活用事例集」を各校へ配布し、ふるさと学習を推進した。さらに、教員のニーズに応え、児童生徒がふるさとに愛着と誇りを持てるようにするために、令和8年度改訂を目指して「かとう学」副読本改訂委員会を立ち上げ、改訂作業を行った。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>ふるさと学習「かとう学」副読本を活用した「副読本活用事例集」を配布したことで、ほぼすべての教科で活用することができた。また、「かとう学」副読本改訂委員会では、兵庫教育大学副学長の吉水先生に監修としてご助言いただきながら、取材や編集作業を行い、掲載予定の半分程度の執筆に取り組むことができた。</p>		
令和7年度の課題	<p>令和8年度改訂版を発行するために、定期的に改訂委員会を開催し、取材や執筆活動の際の教員の疑問に早期に応えるだけでなく、進度の調整を行う。</p>		

施策体系コード	I－(2)－③	担当課	学校教育課
施 策	③子どもの主体性・創造性を高める活動の充実		
取 組	取組1 縦と横のつながりを意識した交流		
	取組2 発達に応じた学校行事		
令和6年度の 取組内容	<p>異学年やステージごとの交流活動が増え、児童生徒の主体性を生かした集会や学園生会活動が実施された。</p> <p>社地域や滝野地域では、開校を見据え、自然学校や人権教育講演会、社会見学等を地域ごとに行い、学校間交流を行った。東条学園小中学校では、従前の交流に加えて、つながる平和学習を拡充し、第Ⅱ、Ⅲステージ対象の「平和の集い」を開催し、異学年交流を実施した。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>社地域の5小学校では、5校交流により、加東遺産めぐりや人権交流会に加えてレクリエーション大会やスポーツ交流など、体を動かす交流を共にすることで、他校への理解を深め、小中一貫校への意識を高めることができた。東条学園小中学校では、学校経営研究発表会において、「ステージミーティングを柱とした専門部活動の統制」をテーマに、9年間を見通した学園生会活動のあり方について、研究を深めることができた。また各ステージ間の交流を拡充し、おもちゃランド(2・7年)など、隣接ステージ以外の交流にも取り組んだ。ステージ制を意識した取り組みを行うことで、4年生、7年生、9年生のリーダーシップの育成を図り、体育祭や文化祭で発揮された。前期、後期の教職員が目標となる児童生徒像を具体的に意識した行事の指導支援ができるようになってきた。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>学習や学校行事のねらいを再確認し、小中一貫校に向けて行事内容を精選する。また、児童生徒の主体性を生かした取り組みや意見を取り入れた行事や異学年集会などを充実させる。</p> <p>東条学園と同様、社学園においても、規模や実情に応じた交流、学校行事等を通じた学校の活性化に取り組んでいく。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード I－(2)－②		かとう学副読本を活用した教科数 (学校アンケート(市))				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値 (教科数)		全教科	全教科	全教科	全教科	全教科
実 績 (教科数)	—	9教科	9教科	10教科	10教科	
施策体系コード I－(2)－③		各ステージ間の交流回数 (学校アンケート(市))				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(回)		3	3	3	3	3
実 績(回)	—	3	5	14	17	

基本的方向（3）「豊かな心」の育成

1 成果指標による達成状況

基本的方向（3）「豊かな心」の育成		総合評価		C		
●人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
実績(%)	80.3	75.3	71.0	71.9	69.9	
達成状況		↓	↓	↑	↓	
●自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績(%)	39.0	35.3	31.5	37.7	38.4	
達成状況		↓	↓	↑	↑	
●道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) ※基準値は小6のみ						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		54.0	58.0	62.0	66.0	70.0
実績(%)	51.7	45.0	39.7	43.1	44.6	
達成状況		↓	↓	↑	↑	
●人が困っているときは、進んで助けていると思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		49.0	52.0	55.0	58.0	60.0
実績(%)	46.0	55.6	51.5	53.7	52.1	
達成状況		☆	↓	↑	↓	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	I－(3)－①	担当課	学校教育課
施策	① 「豊かな心」を育む体験活動の充実		
取組	取組1 環境体験・自然体験・芸術体験活動の実施		
	取組2 職業体験活動・ボランティア活動の実施		
令和6年度の取組内容	<p>自然と触れ合う体験型環境学習として、小学校3年生では、環境体験学習を小学校5年生では、4泊5日の自然学校を実施した。また、中学校1年生では、わくわくオーケストラ教室に参加し、芸術体験活動を行った。中学校2年生では、トライやる・ウィークを5日間、事業所等での社会活動を体験することができた。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>体験活動を通して、本物に触れる心、感動する心、生命に対する畏敬の念、共に生きる心、主体的に判断する力を培うことができた。また、トライやる・ウィークでは、働くことの大切さ、厳しさ、楽しさを実感するとともに、自分の将来や進路について考えることができた。さらに、不登校生徒の一部も、事業所や周囲の支援により、活動に参加できた。</p>		
令和7年度の課題	<p>引き続き、体験活動の目標を明確にして、主体的に判断・行動し、問題を解決する力を育むプログラム等を検討する。また、児童生徒がこれまで取り組んできた体験活動を踏まえ、児童生徒の発達段階を見通したキャリア形成が図られるよう指導計画を作成する。</p> <p>トライやる・ウィークでは、生徒が社会のルールやマナーの大切さを実感できる取組になるように支援するとともに、より多くの不登校生徒がトライやる・ウィークを契機として登校につながるよう、事前・事後指導を充実させる。</p>		

施策体系コード	I－(3)－②	担当課	学校教育課
施策	②道徳教育の充実		
取組	取組1 学校・家庭・地域と連携した道徳教育の推進		
	取組2 道徳授業の充実		
令和6年度の取組内容	<p>全市立学校で道徳科の授業を家庭や地域に公開し、道徳科を通して子どもたちに培う道徳的価値観を共有した。また、参観後に保護者アンケートを実施し、身に付けてほしい内容を調査することで、目指す子ども像を共有した。</p> <p>道徳教育実践研修への積極的な参加を呼びかけたり、兵庫教育大学と連携し校内研修の講師として招いたりして、授業のポイントや指導助言を受けることで、考える楽しさを創る道徳科の授業をめざすための指導の工夫について、教員の実践的な指導力向上を図った。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>学校における道徳教育について、アンケート結果から家庭や地域の9割を超える方々から道徳の授業に「満足している」「やや満足している」を含むという回答をいただいた。また、アンケートから得た保護者が願う「子供に身に付けてほしい力」を知り、共有することができた。</p> <p>道徳科における深い学びを目指す道徳実践について、教材への向き合い方や授業づくりの基本など、教員のキャリアステージに応じた実践的な指導力の向上が図られた。また、招聘した講師より、授業のねらいや展開の仕方・板書計画や指導案の書き方など、詳しく助言をいただき、日々の指導に活かすことができた。</p>		
令和7年度の課題	<p>学校・家庭・地域が連携し一体となって子どもを育てるため、学校における道徳科の授業を広く公開し、その様子を積極的に発信する。</p> <p>また主体的・対話的で深い学びを通して、自分自身のこととして考えを深められるようにするため、課題設定や発問などを工夫して、考える楽しさを創る道徳科の授業を目指し、大学とも連携し、教職員の授業実践力の向上を図る。</p>		

施策体系コード	I - (3) - ③	担当課	学校教育課
施 策	③人権教育の充実		
取 組	取組1 発達段階に応じた人権教育の充実		
	取組2 多様性を認め合う共生の心の育成		
	取組3 自分や他者の人権を尊重する教育等の推進		
令和6年度の 取組内容	<p>加東市立学校人権教育講演会を5会場で開催し、一人ひとりが、生命を大切に、自他の人格を尊重し、お互いの個性を認め合う心、他人の痛みが分かる心、他人を思いやる心、正義感や公正さを重んじる心など豊かな人間性を育成することをテーマに、小学5年生から中学3年生までが学びを深めた。</p> <p>教職員を対象に実施した人権教育スキルアップ研修は、フィールドワークによる現地研修や、人権センター職員による講話研修を実施し、各校の人権教育担当者や経験の浅い教員を中心に、人権・同和問題の理解を深めた。</p> <p>また、増加する外国人児童生徒の支援の充実を図るため、学校及び関係機関等が情報共有する連絡協議会を実施した。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>人権教育講演会後のアンケートでは約95%の児童生徒が「人権に対する意識が深まった」（大変深まった、深まった）と回答し、人権課題の解決に向けた意識の変容や実践的な行動力の育成を図ることができた。</p> <p>人権教育スキルアップ研修を通じて、多文化共生社会の生き方や同和問題についての教職員の関心や理解を、さらに深めることができた。</p> <p>また、外国人児童生徒等支援連絡協議会で情報共有したことが、外国人児童生徒の支援や受入れに当たり、具体的かつ有益な支援につながられた。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>学校及び関係機関等が連携して、定期的に連絡協議会を開催し情報共有することで、外国人児童生徒等が感じる生活上・学習上・進路選択上の困り感に寄り添い具体的な支援を講じる。</p> <p>また、外部講師による人権教育講演会の開催を継続し、様々な人権課題について解決しようとする実践的な行動力を育成する。</p>		

施策体系コード	I - (3) - ④	担当課	学校教育課
施 策	④防災教育の充実		
取 組	取組1 震災の教訓を風化させない、実践的な防災教育の推進		
	取組2 助け合いやボランティア精神等共生の心の育成		
令和6年度の 取組内容	<p>防災訓練では、休み時間や登下校等の授業時間以外での実施、負傷者への救助を取り入れた訓練等、様々な想定で防災訓練を行った。全ての学校において、3回以上の防災訓練を行い、1月17日には、阪神淡路大震災や能登半島地震、身近な災害に関連する防災教育を実施した。各校の防災訓練の事例や防災教育について加東市防災教育推進連絡会議の中で共有し、加東市における防災教育を推進した。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>防災課と連携した加東市小中学校・自主防災組織合同防災訓練を実施し、自分の生命を守る主体的な行動を育む実践的な防災教育を推進できた。また、震災・学校支援チーム（EARTH員）を活用し、専門家から防災について学ぶ機会をもつことができた。</p> <p>1月17日には、阪神淡路大震災や能登半島地震、身近な災害に関連する防災教育を実施し、助け合いやボランティア精神等の共生の心の育成に取り組んだ。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>各校の実践事例を共有することで、様々な災害、場面想定等に対応したより実践的な防災訓練を実施できるよう工夫する。災害マニュアルを定期的に見直すことで、学校の防災体制を更に充実させる。また、社学園や東条学園における防災体制について市内で共有を図り、小中連携の観点からも教職員の防災意識の向上を図る。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード I－(3)－①		自然学校において、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力が 高まったと回答する学校の割合 (学校アンケート(市))				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実 績(%)	88.9	87.5	75.0	87.5	100.0	
施策体系コード I－(3)－③		小中学校人権教育講演会後の児童生徒の人権について「大変深まった」と 回答した児童生徒の割合 (学校アンケート(市))				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		53.0	54.0	55.0	56.0	57.0
実 績(%)	51.9	54.7	40.6	49.2	48.7	

基本的方向（４）「健やかな体」の育成

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（４）「健やかな体」の育成		総合評価		C		
●自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思う児童生徒の割合 （児童生徒アンケート（市）対象：小6、中3）						
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		72.0	74.0	76.0	78.0	80.0
実 績(%)	71.1	64.4	59.2	62.9	61.6	
達成状況		↓	↓	↑	↓	
●不安や悩みがあったときに、相談できる人がいる児童生徒の割合 （児童生徒アンケート（市）対象：小6、中3）						
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		94.0	96.0	98.0	99.0	100.0
実 績(%)	92.3	90.7	89.5	91.7	92.7	
達成状況		↓	↓	↑	↑	
●朝食を毎日食べている児童生徒の割合 （児童生徒アンケート（市）対象：小6、中3）						
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		88.0	90.0	92.0	93.0	94.0
実 績(%)	86.7	79.7	83.0	78.7	84.8	
達成状況		↓	↑	↓	↑	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	I－(4)－①	担当課	学校教育課
施策	① 体力・運動能力向上をめざす取組の充実		
取組	取組1 体力・運動能力の向上		
	取組2 運動やスポーツの習慣化		
令和6年度の取組内容	<p>「加東市子どもの体力向上推進委員会」において、全国体力・運動能力調査の結果の経年比較したデータを分析し、加東市内の児童生徒は「柔軟性」に課題が見られることから、その改善に向けた取組をリーフレットにまとめ、教職員へ周知した。</p> <p>小学校の体育授業ではPE（体育）マスター派遣事業で社高等学校体育科生を、中学校の部活動では「かとう夢授業」でプロスポーツ選手やプロのトレーニングコーチ等を派遣し、運動の興味関心を高めるとともに、運動能力の向上を図った。</p> <p>部活動指導においては、地域移行に向けた検討委員会を設置し協議を進めた。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>市全体で運動能力の課題を共有し、課題改善に向けた取組を周知することで、他校の実践を参考にしながら、各校の実情に応じて取組を充実させることができた。</p> <p>PE（体育）マスター派遣事業では、個別のアドバイスを活かし、意欲的に自己の能力を高めようとする児童の姿が見られた。かとう夢授業では、高度な技術や指導に触れ、部活動へ取り組む意欲の向上につながった。</p>		
令和7年度の課題	<p>PE（体育）マスター派遣事業では、効果的な単元等で活用ができるようさらに研究を進めるとともに、かとう夢授業では対象の種目を広げ、多くの生徒の意欲向上につなげる。</p> <p>部活動の地域移行（展開）に向けた検討委員会では、実証事業の検証をもとに、今後、段階的に地域移行（展開）を円滑に進められるようにする。地域や保護者、教職員の理解を得ながら、関係団体との調整や部活動指導員の増員を図る。</p>		

施策体系コード	I－(4)－②	担当課	学校教育課
施策	② 健康・安全教育の充実		
取組	取組1 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施		
	取組2 感染症予防のための正しい知識		
	取組3 交通安全教室・防犯教室等を通じた安全意識の向上		
	取組4 児童生徒のSOSの出し方に関する教育等の推進		
令和6年度の取組内容	<p>身近に迫る薬物の危険性について深く学ぶため、薬物乱用防止教室を全市立学校で実施した。</p> <p>加東警察署からの交通安全情報を各学校へ13回発出して、安全意識の向上を図り、児童生徒及び教職員へ啓発を行った。また、不審者対応訓練を14校で実施し、4,018名が参加した。</p> <p>児童生徒アンケートの実施により、積極的に相談できるよう取り組むとともに、タブレットを活用した相談窓口や悩みを抱えた際の相談メッセージ、動画等をアップした。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>薬物乱用防止教室の実施については、小学校でも定着が図られ、早い段階で学習することで正しい知識と行動がとれ、誘惑に流されない学習ができた。</p> <p>交通安全については、積極的な啓発、集団での登下校や見守り隊などの協力により、規範意識が身に付いてきている。不審者対応訓練により、危険から身を守る方法を学ぶことができた。</p> <p>心の健康アプリの実証事業を3校で行った。児童生徒が相談できる体制が身近にあることを理解し、悩みを抱えた際に相談するきっかけとなった。</p>		

令和7年度の 課 題	<p>社会的課題でもある薬物乱用の防止について、主体的に学び考えられる児童生徒の育成を図る必要がある。</p> <p>交通安全については、自転車の乗り方やヘルメットの確実な着用など、1人でも交通ルールを守り、正しい判断で行動できるようにする。</p> <p>心の健康アプリの実証事業では、相談体制の拡充と一体として推進する必要があるため、継続して研究する。引き続き、悩んだときや困ったときに相談する問題対処力を身につけ、不登校児童生徒の支援につなげたい。</p>
---------------	---

施策体系コード	I－(4)－③	担当課	学校教育課、学校給食センター
施 策	③ 食育の推進		
取 組	取組1	地産地消による「楽しみのある学校給食特別メニュー」の提供	
	取組2	学校給食を活用した食育指導	
	取組3	「かとう和食の日」について啓発	
	取組4	学校給食センターでの体験学習	
	取組5	食育推進指定校による食育推進事業	
令和6年度の 取組内容	<p>子どもたちが食への関心を高め、魅力ある給食とするため、かとう夢プラン「楽しみのある学校給食特別メニュー」を月に1回実施した。</p> <p>かとう和食の日において、学期ごとに和食給食に合わせた食育活動を実施した。給食だより（月1回）や食育だより（学期ごと）を通して、食に関する情報を提供した。</p> <p>小学校での PTCA 親子活動の一環とした、給食センター見学会の受入れを年4回実施した。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>かとう夢プラン「楽しみのある学校給食特別メニュー」として、地産地消や郷土食、行事食を取り入れ、児童生徒に給食を通して知識を持ち、食べる楽しみを持たせる献立を心がけた。</p> <p>かとう和食の日に、各学校で和食に関連した食育活動を実施し、日本の伝統的な食文化や食の大切さを考える機会となった。</p> <p>給食だよりや食育だよりを通して、児童生徒やその保護者へ食に関する周知・啓発を行った。また、よく噛む食材を取り入れた「かみかみメニュー」を月1回から月複数回に増やし、給食を通して噛むことの大切さを学ぶ機会とした。</p> <p>給食センター見学会では、小学1～2年生の親子活動の受入れをし、普段食べている給食を調理員が作っている様子の見学や栄養教諭の講話など、親子で学ぶ機会となった。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>心身の健全な発達や食に関する正しい知識について、学校と給食センターが今後も連携しながら児童生徒や保護者に周知していく。</p> <p>かとう夢プラン「楽しみのある学校給食特別メニュー」を継続して実施するほか、学校給食を生きた教材として効果的な食育を行い、魅力のある安全でおいしい学校給食の提供を継続していく。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード I－(4)－①		毎日5分間以上、意識して体を動かしている児童生徒の割合(体育や部活動、登下校以外) (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)				
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		61.0	63.0	66.0	68.0	70.0
実績(%)	58.7	48.4	47.9	49.0	45.3	
施策体系コード I－(4)－③		学校給食での加東市産食材の使用率 (副食(3品を対象))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		24.0	25.0	26.0	27.0	28.0
実績(%)	23.0	25.1	25.3	25.8	19.3	
施策体系コード I－(4)－③		加東市産・兵庫県産食材を用いた年間献立率 (食材の内、献立に占める市産・県産の割合)				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		28.9	29.0	29.1	29.2	29.3
実績(%)	25.0	25.7	25.1	22.3	20.0	

基本的方向（５）インクルーシブ教育の充実

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（５）インクルーシブ教育の充実		総合評価		A		
●児童生徒の自立割合（サポートファイルによる支援が不要になった児童生徒の割合） （市調査）						
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		8.0	8.0	8.5	8.5	9.0
実 績(%)	7.5	7.0	6.1	10.9	10.7	
達成状況		↓	↓	☆	☆	
●市民対象講演会に対する参加者の内容理解度（４段階評価の平均値） （参加者アンケート（市））						
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値 (平均値)		2.7	2.7	2.7	3.0	3.0
実 績 (平均値)	—	3.7	3.7	3.7	3.6	
達成状況		☆	☆	☆	☆	

２ 施策ごとの取組評価

施策体系コード	I－（５）－①	担当課	発達サポートセンター
施 策	① 教育相談の充実		
取 組	取組１ 相談事業		
令和6年度の 取組内容	<p>個の特性に応じた支援を行うために、発達検査・知能検査や発達相談を実施した。また、市民が気軽に相談できる機会を設けた。</p> <p>医師の発達相談を22回、理学療法士の運動発達相談を4回、作業療法士の運動発達相談を4回、言語聴覚士の言語相談を8回、心理士の心理相談を10回、発達検査を103回実施した。はびあプラザを6回実施した。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>多職種による相談日を設け、支援の必要な方がその人らしく生活できるようにサポートすることができた。また、新規事業として、はびあプラザを隔月で実施し、保護者が気軽に相談できる機会を設けた。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>多職種の相談を受けることができるように相談日を確保する。</p>		

施策体系コード	I－（５）－②	担当課	発達サポートセンター
施 策	② 支援体制の充実		
取 組	取組１ 療育事業		
	取組２ 巡回相談		
	取組３ 切れ目ない支援体制の確立		
	取組４ 現場での支援についての情報提供		

令和6年度の 取組内容	<p>就学前の集団療育を2回、就学後の集団療育を4回実施した。</p> <p>園や学校と連携し、センターの職員や専門家による巡回相談（個別園巡回相談15回、こども巡回相談38回、個別学校巡回相談1回、専門家派遣型教育相談14回）を行い、支援の必要な子どもに対しての支援方法について助言した。また、家庭と関係機関が情報を共有し、一貫した支援を進めるためサポートファイルの作成を促した。</p> <p>発達障害の基礎的な内容について、市民対象の研修を2回、園・学校職員対象の研修を5回開催した。</p>
令和6年度の 取組成果	<p>こどもの様子についてお悩みの保護者を対象としたこども巡回相談を新規事業として実施し、個の特性に合わせた支援・対応について保護者・園・センターの職員間で共有した。</p>
令和7年度の 課題	<p>それぞれの取組について、より保護者のニーズに沿った事業内容を検討していく。</p>

3 取組指標の達成状況

施策体系コード I-(5)-①		発達サポートセンターへの相談延べ件数 (市調査)				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(件)		2,100	2,100	2,150	2,150	2,200
実績(件)	2,022	1,896	1,927	2,156	2,265	

基本的方向（6）幼児教育の充実

1 成果指標による達成状況

基本的方向（6）幼児教育の充実			総合評価				A
●教育の機会の提供 3～5歳児の待機児童数 (保育所等利用待機児童数調査)							
年 度		基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値 (人)	3歳児		0	0	0	0	0
	4歳児		0	0	0	0	0
	5歳児		0	0	0	0	0
実 績 (人)	3歳児	1	0	0	0	0	
	4歳児	0	0	0	0	0	
	5歳児	0	0	0	0	0	
達成状況			◎	◎	◎	◎	
●保育士等キャリアアップ研修への参加者が、保育実践に役立つと回答した割合 (保育士等キャリアアップ研修参加者アンケート(市))							
年 度		基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)			90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実 績 (%)		—	72.0	97.0	97.0	99.5	
達成状況			—	◎	◎	◎	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	I－(6)－①	担当課	こども教育課
施策	① 就学前教育・保育の提供体制の確保		
取組	取組1 公立認定こども園等の再編		
	取組2 私立保育所・認定こども園の拡充		
	取組3 就学前教育・保育の質の向上		
令和6年度の取組内容	<p>令和7年4月からの公立認定こども園、保育所の統合に向けて、公立3園の交流保育の実施や保護者説明会を開催するとともに、組織体制や定員等について協議・調整を行うなど統合後の円滑な運営に向けて準備を進めた。</p> <p>保育士等の確保に向けて、引き続き保育士等就業支援事業を実施した。</p> <p>保育士・保育教諭等を対象とした「保育士等キャリアアップ研修」を6日間(30時間)開催した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>公立3園における交流保育の実施や保護者説明会の開催により、保護者の不安軽減につながったほか、交流保育を通して園児が交流を深め、成長につながった。また、統合後の組織体制や定員等の協議・調整により、入所希望が多い0歳児と1歳児の定員を拡充することを決定した。</p> <p>保育士等就業支援事業を実施し、保育士等を確保することで、幼児教育・保育環境の充実につながった。</p> <p>「保育士等キャリアアップ研修」を実施することで、教育・保育の質の向上が図れた。(参加者253人)</p>		
令和7年度の課題	<p>社地域小中一貫校の開校と同時に公立3園を統合し、職員を効率的に配置することにより、多様化する保育ニーズに適切に対応し、質の高い幼児教育・保育を提供する。</p> <p>教育・保育の受け皿の拡充を図るため、保育士等の確保に向けた取組を継続して行うとともに、0歳児から2歳児を受け入れる小規模保育事業所の開設に向けた準備を進める。</p> <p>保育士・保育教諭等を対象とした「保育士等キャリアアップ研修」を引き続き実施し、幼児教育・保育の質の向上を図るとともに、幼小連携事業の実施による教職員、保育教諭の相互連携・接続について意識を高め理解を深める。</p>		

施策体系コード	I－(6)－②	担当課	こども教育課
施策	② 思いやりの心を育む幼児期の教育の充実		
取組	取組1 幼児期からの人権教育		
	取組2 人権教育実践者の養成		
令和6年度の取組内容	<p>幼児期の「やさしさ」や「思いやり」といった心を育む、「違いを違いと思わない」絶対人権感覚を培うための「人権啓発プログラム」を活用し、幼児期人権教育親子セミナーを市内認定こども園等で実施した。(2園)</p> <p>保育士・保育教諭を対象に幼児期人権教育の実践者を養成するため、指導者養成セミナーを開催した。(1回)</p>		
令和6年度の取組成果	<p>幼児期人権教育親子セミナーに参加した5歳児の親子50組へのアンケートによる満足度は100%で、親子で絶対人権感覚を培った。</p> <p>指導者養成セミナーの受講者が「人権啓発プログラム」を園内で実践し、幼児期の「やさしさ」や「思いやり」の心を育むことができた。(15園)</p>		
令和7年度の課題	<p>指導者としての資質を高めるとともに、幼児期に絶対人権感覚を培うため、引き続き、「人権啓発プログラム」を実施する必要がある。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード I-(6)-①		保育士等キャリアアップ研修の延参加者数 (保育士等キャリアアップ研修参加者アンケート(市))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)		280	280	280	280	280
実績(人)	282	310	230	237	253	
施策体系コード I-(6)-①		保育士等キャリアアップ研修開催時間 (保育士等キャリアアップ研修参加者アンケート(市))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値 (時間)		30	30	30	30	30
実績 (時間)	30	30	30	30	30	
施策体系コード I-(6)-②		「人権啓発プログラム」受講者数(親子) (幼児期人権教育実施状況調査(市))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(組)		66	66	66	66	66
実績(組)	66	27	58	65	50	
施策体系コード I-(6)-②		「人権啓発プログラム」実施施設の割合 (幼児期人権教育実施状況調査(市))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		50.0	50.0	60.0	60.0	70.0
実績(%)	20.0	46.0	86.7	100	100	

基本方針Ⅱ 子どもの学びを支える教育環境の整備

基本的方向（１）学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（１）学校の組織力及び教職員の資質能力の向上		総合評価		B		
●学校生活に満足する児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		52.0	56.0	60.0	64.0	68.0
実績(%)	48.7	37.1	38.2	39.0	44.2	
達成状況		↓	↑	↑	↑	
●授業中にICTを活用して指導している教員の割合 (教職員ICT活用状況調査(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
実績(%)	74.9	79.6	88.5	88.1	96.9	
達成状況		↑	◎	↓	↑	
●1か月の在校時間が100時間超の教員数(80時間超の教員数) (教職員超過勤務調査(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)		0	0	0	0	0
実績(人)	13	2 (9)	3 (9)	3 (8)	5 (10)	
達成状況		↑	↓	→	↓	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅱ－（１）－①	担当課	学校教育課
施策	①教職員研修の充実		
取組	取組１ 専門性と実践的指導力の向上をめざす研修		
	取組２ キャリアステージに応じた研修		
	取組３ 組織力向上をめざす研修		
令和６年度の取組内容	<p>全教職員研修を年２回（学校法務、体罰ハラスメント防止）実施した。他に社地域小中一貫教育研修会では、社地域小中一貫校の開校に向けて、各校の主幹教諭を中心に学校運営や学習指導の取組や方針について研修した。</p> <p>キャリアステージに応じた研修では、学校経営研修会３回、ミドルリーダー研修会３回、若手教員研修会５回を実施した。ミドルリーダー研修会では、カリキュラムマネジメントの研修だけでなく、受講者自身が資質向上に役立つテーマを設定したうえで、県立総合教育センターの講座を受講した。そのテーマをもとに各学校で伝達講習を行い、校内の研修体制の構築を図るとともに、ミドルリーダーの育成を図った。</p> <p>兵庫教育大学と連携し、市教委主催の研修や各校の研究授業において、大学の教授等を講師として招聘した。また、県指定の「活用・表現力」の育成に向けた国語科授業改善事業や読書活動推進事業を受け、研修を深めた。</p>		
令和６年度の取組成果	<p>若手教員の研修では、学級経営や道徳教育、情報教育等、大学の教員を講師として、教員のニーズに応じた研修内容を充実させることができた。</p> <p>小中一貫教育研修では、主幹教諭が中心となり社地域ならではの組織作りが推進できた。８月には、社地域の小中一貫教育研修会を開催し、社地域小中一貫校開校に向けて、統合する５小学校と１中学校が情報共有を図り、開校までに各学校で取り組むべき方向性を確認することができた。</p>		
令和７年度の課題	<p>県立総合教育センターの活用を継続するとともに大学との連携を充実し専門性と実践的指導力の向上を目指す。教職員が自校の教育課題改善を図るため、PDCAサイクルにより、新たな課題に挑戦する教職員集団の育成を目指す。</p> <p>また、主体的に研修に参加できるよう、人事評価育成システムにおける面談を充実させる。キャリアステージに応じた研修の参加者を増やす必要がある。特に、ミドルリーダーの育成や若手教員研修において受講者を増やし、学校牽引力や授業指導実践力を高められるよう研修内容を工夫する。</p>		

施策体系コード	Ⅱ－（１）－②	担当課	学校教育課
施策	②協働体制「チーム学校」の確立		
取組	取組１ 児童生徒の内面の共感的な理解に基づいた生徒指導体制		
	取組２ いじめ、不登校等の未然防止、早期発見、早期対応		
令和６年度の取組内容	<p>学級担任をはじめ、教科担任、学年担任、部活動顧問等による複眼的な広い視野からの日常的な声かけや傾聴に加えて、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの専門的な立場からの観察も取り入れながらチーム学校で児童生徒理解に努めた。市教委による児童生徒質問紙調査（ハイパーＱＵ）、毎学期の学校生活実態把握調査、学校独自に困ったことカードやいじめ調査等を定期的実施して、調査に基づく客観的な理解及び研修を行い、児童生徒の内面理解に努めた。いじめにどのように対応したか、毎月の問題行動報告の記録を大切にすると各</p>		

	<p>学校へ働きかけた。心の健康アプリの実証事業を3校で行った。児童生徒が相談できる体制が身近にあることを理解し、悩みを抱えた際に相談するきっかけとなった。</p> <p>学校に行きにくい児童生徒の学びを止めない支援体制を整え、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指すよう、保護者や関係機関との連携を図った。</p>
令和6年度の取組成果	<p>児童生徒質問紙調査（ハイパーQU）の結果を分析して、全教職員で事例検討及び児童生徒理解研修を全校で行った。また、KATOプロジェクトでは、各学校で児童生徒会が主体となったいじめ未然防止活動の取組を発表したり、教職員を対象に居心地の良い学級づくりの研修を行ったりして、児童生徒と教員が両輪となっていじめ防止に取り組んだ。不安を軽減するプログラム「勇者の旅プログラム」を小学5年生が実施し、心の健康の大切さを学習した。</p> <p>教育支援センターの3教室体制を維持し、児童生徒の居場所を確保した。また、不登校支援研究推進校を2校から4校に増やし、支援困難なケースに大学教授を招聘し、助言を求めて多様な手立てを検討、実施することができた。加東市不登校対策連絡協議会を3回開催し、関係機関と情報共有と支援協力を確認した。</p>
令和7年度の課題	<p>引き続き、教師の声かけ、アンケート調査を通じて、いじめの積極的な認知、対応に取り組む。また、いじめの指導を通じて、自身の行動を振り返り、有意義な学校生活を送れるよう共感的理解を促す指導を行う。</p> <p>フリースクールを活用するケースが今後見込まれるため、連携及び支援について研究を進める必要がある。</p>

施策体系コード	Ⅱ－（１）－③	担当課	学校教育課
施策	③教職員の働きがいのある職場づくり		
取組	取組1 ハラスメント防止		
	取組2 教職員の業務量の適切な管理		
令和6年度の取組内容	<p>市立学校全教職員を対象に、体罰ハラスメント防止研修（ビデオ・オンデマンド研修）を1回行った。</p> <p>働き方改革（業務改善）推進委員会を2回実施した。全学校で定時退勤日、ノー会議デーを設定した。出退勤の記録簿については、全教員の記録を把握し、衛生推進者及び管理者により教育委員会へ報告されている。教職員超過勤務縮減に向けて、定時退勤の励行、計画的な業務執行等を管理職より呼びかけた。また、スクール・サポート・スタッフは全学校11名配置、部活動指導員は18名配置できた。さらに、学校保護者連絡ツール tetoru を活用した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>定期的かつ継続的にハラスメント防止研修会を開催することで、研修内容の積み上げが図られ、今年度は、「ハラスメントの基礎知識と加害者の認知の歪み」について研修し、教員の人権意識を高めた。</p> <p>学校保護者連絡ツールの活用により、欠席連絡への朝の電話対応が減った。また、文書添付ができるため学校通信や必要な文書を保護者に直接届けることができるようになった。</p> <p>兵庫県教育委員会が作成した教職員の勤務時間適正化事例集「GPH100+」を参考にするなどして、各校の実情に応じた工夫を凝らした業務改善を行い、教職員の意識改革につなげた。</p>		
令和7年度の課題	<p>継続した取組により、教職員自身が強い課題意識をもつことで、超過勤務時間の減少に努めるとともに、地域との連携をさらに進めることで、チーム学校の体制の</p>		

構築を推進していく。

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅱ－(1)－②		学校生活実態把握調査に困ったことを書く延べ人数 (学校生活実態把握調査(市)) ※毎学期に調査				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)		620	630	640	650	660
実 績(人)	608	621	711	675	494	
施策体系コード Ⅱ－(1)－①②③		管理職研修の回数 ※市教委主催の校長、教頭対象研修				
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(回)		20	20	20	20	20
実 績(回)	20	27	29	26	28	
施策体系コード Ⅱ－(1)－①		若手教員研修参加者率 (対象：2～6年目、臨時講師30歳未満)				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		50.0	53.0	56.0	59.0	62.0
実 績(%)	47.0	27.5	39.5	57.7	57.4	
施策体系コード Ⅱ－(1)－③		スクール・サポート・スタッフ配置人数				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)		11	10	10	6	6
実 績(人)	0	11	11	11	11	
施策体系コード Ⅱ－(1)－③		部活動指導員配置人数				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)		8	12	16	20	24
実 績(人)	0	8	9	12	18	

基本的方向（２）家庭・地域の力を生かした教育の充実

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（２）家庭・地域の力を生かした教育の充実		総合評価		B		
●学校や市の研修会に参加した保護者の割合 (保護者アンケート(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		40.0	50.0	60.0	70.0	70.0
実績(%)	—	27.2	24.1	48.9	49.3	
達成状況		—	↓	↑	↓	
●親子活動、ひろば活動等の参加者が、楽しい・良かったと感じた割合 (参加者アンケート(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		80.0	85.0	85.0	85.0	85.0
実績(%)	—	99.1	99.1	100.0	100.0	
達成状況		☆	☆	☆	☆	
●オープンスクールなどの学校行事や学校でのボランティア活動に参加する市民の割合 (総合計画に関する市民意識調査(市))						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	50.0	—	—	53.0
実績(%)	45.7	—	45.7	—	—	
達成状況		—	→	—	—	
●青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加する市民の割合 (総合計画に関する市民意識調査(市))						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	32.0	—	—	33.0
実績(%)	28.0	—	30.9	—	—	
達成状況		—	↑	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅱ－（２）－①	担当課	学校教育課
施策	① 親の学びの機会の提供と保護者支援		
取組	取組1 学校と家庭の連携の促進		
	取組2 子育ての不安を抱える家庭への支援		
令和6年度の取組内容	<p>学校と家庭の情報共有アプリ（tetoru）を導入して、学校と家庭との連絡だけでなく、地域との情報共有も円滑に行うことができた。</p> <p>情報モラル研修会を各学校で実施し、保護者も参加できる機会を作ったり（10校3,076名参加）、警察と連携して交通安全や違法薬物の注意喚起を行ったりすることで、家庭や地域の教育力を向上させる取組を行った。</p> <p>保護者からの相談には、担任だけでなく、学年教職員による協働的支援により、信頼関係の構築を図った。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>tetoru で学校から保護者への健康観察の依頼や学校だよりや子どもの作文等の情報発信、保護者から学校へ欠席連絡や問合せが手軽に行えたことにより、円滑に情報を共有することができた。</p> <p>情報モラル研修会では、早い発達段階から家庭と連携する必要があることから、対象を小学生中学年からにすることで、早期啓発を推進できた。保護者がネットや人権について学習することで、毎月のネット監視パトロールでのモニタリング報告では、トラブルに至る報告が少なくなっている。</p> <p>学校だけで対応が難しい事案は、教育委員会や弁護士相談を活用するなど、関係機関の支援を受けながら、困っている子どもや保護者に寄り添って支援している。不登校に関する相談は、早期に教育支援センター担当者とともに対応し、学校以外の子どもの学びの場を確保した。教育支援センター主催の保護者会を開催し、保護者の思いを共有する場を設けた。また、教育支援センター内で児童生徒がオンライン授業に参加できるように環境を整備した。</p>		
令和7年度の課題	<p>複雑な社会情勢が続くため、子どもや保護者の悩みも多様化することが予想される。教育支援センターや校内教育支援センター、フリースクール等の情報を集め、相談時に提供できるよう準備する。また、子どもを中心に考えて、保護者の思いに寄り添った相談体制を整える必要がある。</p>		

施策体系コード	Ⅱ－（２）－②	担当課	こども教育課
施策	② 子育て相談・子育て支援の充実		
取組	取組1 子育て親子の交流と育児相談・情報提供		
	取組2 「子育て」と「子育て」を支える講座の実施		
令和6年度の取組内容	<p>児童館等において、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談を実施するとともに、子育て及び子育て支援に関する講座等の実施（154回）と子育てサークルの活動を支援した。</p> <p>また、令和6年6月から子育て講座等の申込みにオンライン申請を導入するとともに、令和6年8月に加東市児童館公式インスタグラムを開設し、児童館等に関する情報を積極的に発信した。なお、「かとう子育てねっと」については、令和6年3月末をもってサービスを終了した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>児童館等において、子育て中の親子の相互交流や子育ての不安・悩みの相談を行い、子育ての不安感、負担感の軽減につながった。</p> <p>また、オンライン申請を導入したことで、時間や場所に関係なく申請ができるようになり、利便性向上につながった。（申請件数：1,516件）</p> <p>さらに、インスタグラムをはじめ、市ホームページやLINE等を活用して、行事予</p>		

	定や活動内容などを積極的に投稿し、児童館等の魅力を広く発信した。(インスタ投稿数：216 投稿)
令和7年度の課題	<p>子育ての孤立化や子育ての不安・負担感の軽減を図るため、児童館等において、引き続き子育て中の親子が相互交流できる場の提供や地域との交流機会の充実を図るとともに、保護者が子育ての不安や悩みについて気軽に相談できる環境づくりに努める。</p> <p>また、個人情報に十分留意しながら市ホームページやインスタグラム等を活用して、児童館等の行事予定や魅力を積極的に発信し、インスタグラムとオンライン申請を連携させることで、より一層便利になるよう改善を図る。</p>

施策体系コード	Ⅱ－(2)－③	担当課	生涯学習課
施策	③ 学校・家庭・地域の連携と協働		
取組	取組1 加東市連合PTA研修会の開催		
	取組2 子ども育成に対する学びの場の充実や家庭への支援		
令和6年度の取組内容	<p>加東市連合PTAの研修会をPTCA活動支援事業実践発表大会と合わせて実施1回、子育て応援ネット推進連絡会で地域交流を図る「昔あそび&スポーツ大会」及び子育てや家族関係の講演会1回を開催したほか、小学生チャレンジスクール事業では、伝統文化、福祉体験、創作体験、野外活動(延べ381人参加)を実施し、地域子ども教室を市内11会場(延べ6,185人参加)で実施した。</p> <p>ノーベル大賞では、加東市や兵庫県の自然及び環境問題をテーマにして、自ら観察・調査・考察したものを対象に募集を行い、49作品の応募があった。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>加東市連合PTAでのPTCA支援事業実践発表大会では、チラシを作成したり新聞でも公開したりするなど一般参加の募集を広く周知したことで、より地域や実践発表・講演に興味を持つ方々を集めて実施することができた。</p> <p>子育て応援ネット推進連絡会の「昔遊び&スポーツ大会」では、昔遊びやニュースポーツを通じて地域と三世代間での交流を図ることができたが、開催時期が他の行事と重なり、参加者が少なかった。</p> <p>小学生チャレンジスクール事業については、アンケート結果から参加者の満足度は高く、体験活動を通して、学校外の異年齢の子どもたちが交流することで、社会性や自主性の向上につながった。</p> <p>地域子ども教室では、学校や家庭だけでなく、地域の方々にも児童を見守ってもらうことで、「地域で子どもを育てる」形を形成することができた。</p> <p>また、生涯学習サポーター倶楽部登録の講師と連携し、小学生チャレンジスクール(鯉のぼりづくり、SDGs、工作等)や地域子ども教室(踊り体験・バルーンアート等)において、子どもたちに体験活動の機会を提供することができた。</p> <p>ノーベル大賞では、テーマを『研究について』と題し、人と自然の博物館研究員から講演をいただき、子どもたちの研究意欲を高めることができた。</p>		
令和7年度の課題	<p>加東市連合PTAでは、小中一貫校が進む中で、より地域との交流を深め、お互いに情報共有できるように取り組んでいく。</p> <p>小学生チャレンジスクール事業については、他課との協力事業や、子どもの関心に合わせた体験の場を検討・提供することで、新規の参加者を確保していく。</p> <p>地域子ども教室の指導者については、今後も継続して活動していただけるように環境整備を行っていく。また、より地域・家庭・学校と協力した体制を作っていく。</p> <p>ノーベル大賞については、より多くの子どもたちに研究することの楽しさを伝えることが必要である。</p>		

施策体系コード	Ⅱ－（２）－④	担当課	学校教育課・小中一貫教育推進室
施 策	④ 地域とともにある学校づくり		
取 組	取組 1 地域と連携・協働による学校運営		
	取組 2 開かれた教育課程の推進		
	取組 3 「かとう学」によるふるさと意識の醸成		
	取組 4 コミュニティ・スクールとしての新しい学校づくり		
令和 6 年度の 取組内容	東条学園小中学校において、年間 5 回の学校運営協議会を開催し、地域住民・保護者・教員が共に目指す子ども像を共有し、有識者による指導助言をいただきながら、地域とともにある学校づくりに努めた。社地域において、開校準備委員会で学校運営協議会についての研修を行い、委員選出のための先進校視察を行った。		
令和 6 年度の 取組成果	東条学園小中学校では、学校運営協議会のもと、コメ作りやむかし遊びなど、教育活動に地域の方々を迎えて、地域との関りを深めることができた。また東条地域のすべての祭りをマップにまとめることができた。社地域については、開校準備委員会で学校運営協議会での研修と先進校視察を行うことで、学校運営協議会への理解を図るとともに、コミュニティ・スクールとして開校後の運営についての具体を示すことができた。		
令和 7 年度の 課 題	東条地域の祭りマップを学園生に配布し、伝統行事や文化を大切にし、地域に愛着と誇りを持てるようにする。社学園については、学校運営協議会の運営を通して、地域とともにある学校づくりの推進を行う。		

施策体系コード	Ⅱ－（２）－⑤	担当課	学校教育課・青少年センター
施 策	⑤ 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり		
取 組	取組 1 地域での安心・安全を見守る体制づくり		
	取組 2 地域での健全育成を推進する体制づくり		
令和 6 年度の 取組内容	<p>各小・中・義務教育学校へ、最新の交通安全・防犯情報やインターネット利用状況を周知し、地域と連携して子どもを見守る体制を構築した。</p> <p>不審者情報等については、通報等の連絡確認後、迅速に防犯メール等で注意喚起し、青パトによるパトロールを強化した。</p> <p>児童生徒を取り巻く有害なインターネット利用状況を把握するため、定期的にネットパトロールを実施し、危険な行為について注意喚起した。また、個人が特定される行為については、各校と連携し、個別指導した。</p> <p>学校・警察連絡会を長期休業前、年間 2 回開催し、情報共有を図った。</p> <p>通学路安全プログラムを実施し、市内各学校園（兵庫教育大学附属小・中学校、こども園・保育園含む）の点検で挙げられた危険箇所の点検を行った。</p>		
令和 6 年度の 取組成果	<p>安全情報を定期的かつ効果的に発信することで、学校・家庭・地域と連携した見守り活動の実施につなげるなど、具体的に交通安全、防犯に対する注意喚起ができた。また、青少年補導委員へ情報提供することで、日常の見守り活動に対する意識向上が図られた。</p> <p>ネットパトロールで得た最新の情報をもとに、タイミングを逃すことなく、児童生徒への的確な指導を行うことができた。情報モラルについては、最新の情報をもとに児童生徒に身近に迫る問題として、具体的な指導をすることができた。</p> <p>学校・警察連絡会を継続開催したことで、学校・警察・教育委員会の連携を強化し、個別対応が迅速にできるようになった。</p> <p>通学路安全プログラムでは、交通安全と防犯の両面での安全について、関係機関とともに 7 日間かけて現地で 4 6 か所の安全対策を検討することができた。そのうち、社地域の新通学路 5 か所を点検した。点検結果を通学路安全推進会議、ホームページで報告した。</p>		

令和7年度の 課 題	<p>最新の情報を発信し、緊急対応時に役立つ知識の更なる周知を図る。登下校の安全については、関係機関との連携を強化し、地域と協働した見守り活動を継続して行う。</p> <p>通学路安全プログラムでは、滝野地域小中一貫校の開校に向けた新しい通学路についても通学路が確定した地域から順次、点検ができるよう継続して進める。</p>
---------------	--

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅱ－(2)－②		児童館等の来館者数（子育て中の親子の交流の場の利用状況） （児童館事業報告（市））				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（人）		43,500	43,500	71,000	71,800	72,500
実 績（人）	72,259	37,589	56,272	62,890	63,882	
施策体系コード Ⅱ－(2)－②		「かとう子育てねっと」を活用した講座等の情報提供数 （かとう子育てねっと運営状況（市））				
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（件）		160	160	160	160	160
実 績（件）	157	156	176	157	—（終了）	
施策体系コード Ⅱ－(2)－②		児童館等での子育て及び子育て支援に関する講座等の実施回数 （児童館事業報告（市））				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（回）		70	70	75	75	80
実 績（回）	81	95	117	125	154	
施策体系コード Ⅱ－(2)－③		小学生チャレンジスクールへ年に1回以上参加した児童数 （参加者名簿）				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（人）		330	365	400	435	470
実 績（人）	290	188	275	285	178	
施策体系コード Ⅱ－(2)－③		地域子ども教室への延べ参加児童数 （登録カード）				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（人）		8,299	8,299	8,299	8,299	8,299
実 績（人）	8,299	2,399	3,978	5,939	6,185	
施策体系コード Ⅱ－(2)－④		オープンスクールを年間3回以上実施した学校 （学校実施調査）				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（校）		10	10	10	6⇒10	6
実 績（校）	12	10	10	10	10	
施策体系コード Ⅱ－(2)－①④		保護者、地域との研修会等の実施学校数				

年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(校)		10	10	10	6⇒10	6
実 績(校)	12	5	8	10	10	

基本的方向（3）学校施設の整備と就学支援

1 成果指標による達成状況

基本的方向（3）学校施設の整備と就学支援		総合評価		B		
●学校教育環境の整備充実に満足している市民の割合 （総合計画に関する市民意識調査（市））						
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	22.0	—	—	24.0
実 績(%)	19.9	—	26.6	—	—	
達成状況		—	☆	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅱ－（3）－①	担当課	小中一貫教育推進室
施 策	①小中一貫校開校に向けた準備と施設の整備		
取 組	取組1 開校準備委員会の設置・運営		
	取組2 東条地域小中一貫校の整備		
	取組3 社地域、滝野地域小中一貫校の整備		
令和6年度の 取組内容	<p>社地域小中一貫校においては、令和7年4月の開校に向けて、令和5年度に引き続き小中一貫校建設工事を進め、増築校舎棟の竣工を目指すとともに、既存校舎棟の長寿命化改修工事にも着手した。</p> <p>また、学校活動に必要な備品の購入を順次進めた。</p> <p>滝野地域小中一貫校においては、令和5年度に作成した基本設計に基づき実施設計を進めるとともに、令和7年度から着工予定の本体工事に先行して、周辺農地の造成工事等を行った。</p> <p>また、開校準備委員会をはじめとする関係者の皆様とともに、徒歩通学路の検討や小中一貫校の愛称及び新制服等の決定に向けて取り組んだ。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>社地域小中一貫校においては、令和6年8月に増築校舎棟が竣工し、9月から供用を開始した。既存校舎棟は令和7年1月に改修工事が完了し、2月から校舎の使用を再開した。</p> <p>また、令和7年3月には、社地域5小学校の引っ越しが完了し、令和7年4月の社学園開校を迎えることができた。</p> <p>滝野地域小中一貫校においては、実施設計が完了し、周辺農地の造成工事が完了するとともに、テニスコートの整備及び旧滝野保健センターの解体工事にも着手した。</p> <p>また、開校準備委員会においては、徒歩通学路を検討し、小中一貫校の愛称を募集し、67点の応募の中から愛称「滝野学園」を選定し、教育委員会において決定した。新制服等については、制服等検討部会で協議し、児童、保護者、教職員による投票を行い、新制服等を選定し、教育委員会において決定した。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>社地域小中一貫校においては、令和7年4月に開校記念式典を開催し、令和元年度から開始した社地域小中一貫校整備事業を完了する。</p> <p>滝野地域小中一貫校においては、令和10年4月の開校に向けて、令和6年度に引き続き先行工事を行うとともに、本体工事に先立ち埋蔵文化財調査を行い、令和</p>		

	<p>6年度に策定した実施設計に基づき、本体工事に着手する。</p> <p>また、開校準備委員会をはじめとする関係者の皆様とともに、徒歩通学路の検討や校歌、校訓、校章の制定に向けて取り組む。</p>
--	---

施策体系コード	Ⅱ－（３）－②	担当課	教育総務課
施 策	②学校教育施設の改修や教材等の環境整備		
取 組	取組１ 既存施設の改修 取組２ ＩＣＴ環境の維持管理		
令和６年度の 取組内容	<p>令和４年度から令和６年度までの３か年で実施していた児童生徒用の机椅子の更新が完了した。</p> <p>学校施設の整備では、授業及び部活動で使用する東条学園テニスコートと、社学園屋内運動場の空調設備整備に合わせ、東条学園の屋内運動場の空調設備を整備するとともに、小中一貫校整備を見据えた効果的かつ効率的な学校施設の修繕や維持管理に努めた。</p> <p>また、令和７年度から運行する社学園のスクールバスの導入及び運行管理業務に係る手続き等を完了した。</p> <p>教材等の整備では、４年に１度の小学校の教科書改訂に伴い、教師用教科書及び指導書を配備した。</p> <p>ＩＣＴ環境整備では、今年度でリース期間が満了する校務用端末機器の更新と、社学園のネットワーク等の整備を実施した。</p>		
令和６年度の 取組成果	<p>机椅子の更新や、テニスコートの整備により、児童生徒の学習環境の向上を図った。</p> <p>学校施設では、効果的かつ効率的な修繕や維持管理、また空調設備を整備することで、授業中の熱中症などの危険を回避し、安全・安心かつ、快適な学校生活の維持、向上を図った。</p> <p>ＩＣＴ環境では、最新の端末機導入やセキュリティ対策の整備により、教職員が行う業務の効率化、円滑化による働き方改革の推進と、情報資産の機密性、完全性及び可用性の維持、強化を図った。</p>		
令和７年度の 課 題	<p>市の教育の振興に関する施策についての基本的な計画である、第４期加東市教育振興基本計画を策定する。</p> <p>閉校した学校施設の円滑な運用と、活用方針決定までの間の、適正な施設の維持管理に努める。加えて、学校跡地の土地の名義の整理等において、地権者や関係部署等との協議、調整を早期に進める必要がある。</p> <p>開校した社学園では、施設及びスクールバス等の円滑かつ、安全・安心な運用に努める。</p> <p>ＩＣＴ環境では、学力テストへの対応と、より学習環境の質を高めるため、児童生徒の端末機器を計画的に更新していく。</p>		

施策体系コード	Ⅱ－（３）－③	担当課	教育総務課・学校教育課
施 策	③教育機会の確保と就学のための支援		
取 組	取組１ 就学の援助 取組２ 外国人児童生徒への支援		
令和６年度の 取組内容	<p>就学援助及び就学奨励事業では、対象者への周知、申請の促進を図り、確実な支給手続きを進め、就学援助事業では503人（内、入学準備金94人）、就学奨励事業では71人に、就学に必要な費用の一部を支給した。また、令和６年度から市の事業として本格実施した給食費無償化事業では、市立学校では年間を通じた給食費の無償化と、市立以外に就学する市内の児童生徒に対し、給食費相当の支援金を支給した。</p>		

	<p>また、令和6年度から自転車通学となる中学生 278 人に対し、ヘルメット購入費の半額を助成した。</p> <p>外国人児童生徒等への対応として多文化共生サポーターを学校へ派遣（派遣人数延べ 12 名）したほか、兵庫教育大学と連携して、こども日本語教室の開催や日本語支援を 2 小学校で実施した。</p>
令和6年度の取組成果	<p>就学援助及び就学奨励事業では、昨年度から電子申請による申請手続きの簡素化により、申請者の負担の軽減と、円滑な支給事務を推進できた。また、給食費の無償化により、経済的負担を軽減することで、物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援できた。</p> <p>多文化共生サポーターやこども日本語支援員を派遣することで、外国人児童生徒・保護者と教員のコミュニケーションの円滑化や生活適応、学習支援、心の安定を図ることができた。また、昨年度設置した「加東市外国人児童生徒等支援連絡協議会」では、加東市立学校に在籍する外国人児童生徒等の学校生活上の様々な課題の解決に向け協議し、効果的な支援に努めた。</p>
令和7年度の課題	<p>引き続き、児童生徒の保護者に対して、国等の制度も活用し、継続して子育て世帯への経済的支援に努める。</p> <p>多文化共生サポーターの派遣や日本語支援を継続し、外国人児童生徒の学習支援等の充実に加え、外国人児童生徒の受入れや日本語指導の充実を図るため、「外国人児童生徒等支援連絡協議会」において、更なる関係機関との連携の強化、支援体制の確立を目指す。</p>

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅱ－（３）－①		小中一貫校の開校状況【累計】 （総合計画におけるまちづくり指標）				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(校)		1	1	1	1	2
実績(校)	—	1	1	1	1	

施策体系コード Ⅱ－（３）－②		ICT環境（学習者用端末一人1台）の更新				
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		更新 維持管理	更新 維持管理	維持管理	維持管理	更新 維持管理
実績	整備完了	70台更新	600台更新	—	—	

施策体系コード Ⅱ－（３）－③		チラシ、ホームページによる就学援助制度の周知回数				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(回)		4	4	4	4	4
実績(回)	4	5	5	4	4	

基本方針Ⅲ 人生 100 年時代の到来を見すえた生涯学習の推進

基本的方向（１）多様な学習機会の充実

1 成果指標による達成状況

基本的方向（１）多様な学習機会の充実		総合評価		D		
●高齢者大学での学びが役立った、生きがいくりにつながったと回答した人の割合 (参加者アンケート調査(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	81.4	—	—	87.4
実績(%)	—	—	96.6	—	—	
達成状況		—	☆	—	—	
●成人を対象とした講座の内容が役立ったと回答した人の割合 (参加者アンケート調査(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	81.4	—	—	87.4
実績(%)	—	98.6	100.0	—	—	
達成状況		☆	☆	—	—	
●参加した教室等の内容がよかったと回答した子どもの割合 (参加者アンケート調査(市))						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	81.4	—	—	87.4
実績(%)	—	100.0	96.8	—	—	
達成状況		—	☆	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（１）－①	担当課	生涯学習課
施策	①ライフステージに応じた学びの充実		
取組	取組１ 高齢者大学の実施		
	取組２ 成人を対象とした講座の開催		
	取組３ 社会教育の振興への支援		
	取組４ 加東遺産講座		
	取組５ 子ども育成に対する学びの場の充実や家庭への支援（再掲）		
	取組６ 青少年健全育成への支援		
令和６年度の取組内容	<p>高齢者大学は、合同講座６回、教養講座３回、スキルアップ講座８回、館外研修を実施し、また、成人学習事業は、茶道教室、文学講座、料理教室を実施した。</p> <p>加東遺産講座は、令和２年度に改訂したガイドマップを用いて１回開催し、市の歴史文化を紹介した。</p> <p>一方、団体主導による自主的かつ主体的な活動を支援するため、社会教育の振興への支援として、加東市連合婦人会及び加東市連合ＰＴＡに補助金を交付したほか、青少年健全育成への支援として、ボーイスカウト加東第５団及び加東市子ども会育成連絡協議会に補助金を交付した。</p>		
令和６年度の取組成果	<p>高齢者大学では、実施方法を工夫し、台風接近により中止した講座もあったものの、予定の講座を開催でき、学生のニーズに応えることができた。</p> <p>成人学習事業では、市民の様々なニーズに合わせ、市民の楽しみや生きがいが見いだせるような教室が開催できた。特に料理教室では「スーパーで買える食材でプロから学ぼう」として気軽に参加してもらえるよう取り組んだ。</p> <p>加東遺産講座では、地域の歴史に根付いた文化財や史跡を解説することで人々の営みを振り返り、歴史遺産への造詣を深め、故郷を再認識する一助となった。</p> <p>加東市連合ＰＴＡ等の各種団体において、各団体の趣旨に基づき、事業を実施できたことで、社会教育の振興につながった。</p>		
令和７年度の課題	<p>高齢者大学では、８月を休校月、スキルアップ講座を９回から６回に減らし、内容の充実を図ることで、学生が参加したくなるような取組を検討していく。</p> <p>成人学習事業では、参加しやすい料理教室を継続するとともに、応募の少なかった講座については、内容・開催時期を見直し、より充実した事業となるよう取り組んでいく。</p> <p>加東遺産講座への市内向けの啓発を強化し、身近に実物に触れる見学会等を開催することで郷土史についての関心を高め、地域への愛着を育んでいかなければならない。また、歴史文化の裾野を広げ、地域の活性化に繋げるため、市外からの参加者も積極的に受入れる。</p> <p>加東市連合ＰＴＡ等の活動については、小中一貫校開校に伴い、ＰＴＡ組織自体が減っている中、事業見直しや今後の在り方も含め、検討していく。</p>		

※ 「取組５ 子ども育成に対する学びの場の充実や家庭への支援（再掲）」については、基本方針Ⅱ 基本的方向（２）の「施策③ 学校・家庭・地域の連携と協働」の取組２を参照。

施策体系コード	Ⅲ－（１）－②	担当課	生涯学習課
施策	②学習活動の支援と担い手の育成		
取組	取組１ サークル活動の実施・支援		
	取組２ 生涯学習サポーター倶楽部の充実		
令和６年度の取組内容	<p>公民館等の登録団体として社公民館（２８団体）、明治館（７団体）、滝野公民館（１９団体）、さんあいセンター（３０団体）、東条公民館（９団体）、コミュニティセンター東条会館（１４団体）ごとに登録があり、継続した活動を実施している。</p>		

	生涯学習サポーター倶楽部への登録促進のために、兵庫教育大学のボランティアステーションとの連携に努めた。また、イベントスタッフ募集の案内を定期的に行い、生涯学習活動を支援する立場での参画を促した。
令和6年度の取組成果	<p>公民館等の登録団体のうち、条件を満たした団体が施設の年間予約や使用料の減免を受けることができる制度を活用し、サークル活動を支援した。</p> <p>また、公民館等の登録団体の発表の機会の一つとして、市ケーブルテレビを活用して作品等を放映したり、社公民館交流会、滝野公民館まつりを開催するなど、市民への周知を図った結果、参加団体及び来館者との交流につながり、地域のコミュニケーションを深めることができた。</p> <p>生涯学習サポーター倶楽部に登録していただいている指導者や講師の方の知識や経験を生かし、地域子ども教室の夏休み特別教室で小学生向けの工作体験を実施したり、小学生チャレンジスクールや伝の助マラソン大会等のスポーツイベント等でも、サポートスタッフとして協力いただくことでさまざまな体験活動の機会を提供することができ、活動が充実した。</p>
令和7年度の課題	<p>公民館等の登録団体が継続して活動できるよう、事業実施の手法について引き続き支援し、集い・憩いの観点からも活動しやすいよう支援を行っていく。</p> <p>生涯学習サポーター倶楽部の指導者・講師として登録していただいている方は少しずつ増えているが、活動機会の提供につなげていくために、生涯学習サポーター倶楽部の取組についての周知を行い、生涯学習課の事業等でも、積極的にサポートスタッフとしての活動機会を増やしていく。</p>

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（１）－①		高齢者大学入学者数 （入学者名簿）				
年度	基準値 （令和元年度）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（人）		328	334	340	346	352
実績（人）	322	220	205	203	217	
施策体系コード Ⅲ－（１）－②		サークル活動団体数及びイベント回数 （対象団体及びイベント開催調査）				
年度	基準値 （令和2年度）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	団体数 （団体）	112	139	139	139	139
	イベント （回）	7	7	7	7	7
実績	団体数 （団体）	129	115	110	110	105
	イベント （回）	7	2	4	3	3
施策体系コード Ⅲ－（１）－②		生涯学習サポーター倶楽部への登録者数及び登録団体数				
年度	基準値 （令和元年度）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	登録者数 （人）	300	309	318	327	336
	団体数 （団体）	1	2	3	4	5
実績	登録者数 （人）	—	311	390	450	485
	団体数 （団体）	—	5	15	15	15

基本的方向（２）人権教育・啓発の推進

１ 成果指標による達成状況

基本的方向（２）人権教育・啓発の推進		総合評価		C		
●人権を日常的に意識している市民の割合 （総合計画に関する市民意識調査（市））						
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	78.7	—	—	80.0
実 績(%)	77.3	—	80.6	—	—	
達成状況		—	◎	—	—	

２ 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（２）－①	担当課	人権協働課
施 策	① 地域社会における人権教育・啓発の推進		
取 組	取組1 市民の学習活動の支援		
	取組2 地域の特性を活かした人権学習の推進		
	取組3 加東市人権・同和教育研究協議会の活動支援		
	取組4 人権に関する講演会等の開催		
令和6年度の 取組内容	<p>加東市民人権講座や人権啓発講演会、人権を考える市民のつどい等を実施したほか、加東市人権・同和教育研究協議会（市同教）と連携し、地区住民学習や団体別研修を開催した。</p> <p>また、市ケーブルテレビでの人権啓発番組の放送や人権啓発情報誌「夢きらめいて」を発行し、広く市民への啓発も行った。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>加東市民人権講座は、オンライン講座の導入や開催時間帯の変更等、開催方法を工夫した結果、参加者は前年度と比べて5%以上増加した。</p> <p>また、地区住民学習会は、引き続き人権啓発DVDや動画視聴、資料配布など複数の学習方法を提案するとともに、住民学習説明会で積極的な実施を呼びかけた結果、前年度と比べて2地区増え、96地区中94地区で実施された。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>加東市民人権講座の参加者数は、全体では前年度に比べて増加したが、子育て世代に限れば参加者は減少し、参加率も低下した。</p> <p>ライフスタイルや価値観の多様化に対応するために、開催方法を工夫する等、さらに効果的な人権教育・啓発を推進する必要がある。</p>		

施策体系コード	Ⅲ－（２）－②	担当課	人権協働課
施 策	② 職場における人権教育・啓発の推進		
取 組	取組1 加東市企業人権教育協議会の活動支援		
令和6年度の 取組内容	<p>加東市企業人権教育協議会では、人権尊重意識の高い職場づくりのため、社員対象の人権研修を年間5回実施しており、人権協働課はその事務局として、協議会の運営や研修会の企画運営を支援している。</p> <p>令和6年度は、職場における人権問題、働きやすい職場環境、無意識の偏見・差別、メンタルヘルス等をテーマに研修に取り組まれた。</p>		

令和6年度の 取組成果	当初計画した5回の研修のうち1回が台風接近により中止となり、参加延人数は前年度と比べて約20%減少したが、参加者からは「今後の職場づくりに役立てたい。」「職場で研修内容を共有したい。」との感想があり、参加者やその所属事業所にとって、人権意識の高揚、明るい職場づくりに寄与する取り組みとなった。
令和7年度の 課 題	参加事業所の固定化がみられ、参加人数も約35名/回で、ほぼ横ばいで推移している。研修会を計画するにあたり、加盟事業所のニーズを的確に把握しながら、開催日程・方法を工夫して参加者増を図るとともに、協議会の活動目的・内容等を広くPRし、新規加入を促進する必要がある。

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（２）－①		人権教育・啓発のための講演会等への子育て世代参加率 （総合計画におけるまちづくり指標）				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（％）		14.0	15.0	16.0	17.0	18.0
実 績（％）	11.2	26.0	21.0	23.0	20.9	
施策体系コード Ⅲ－（２）－②		加東市企業人権教育協議会への加入事業所数 （第3次加東市人権尊重のまちづくり実施計画の取組指標）				
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（者）		93	95	95	97	97
実 績（者）	93	91	91	91	92	

基本的方向（3）文化芸術の振興

1 成果指標による達成状況

基本的方向（3）文化芸術の振興		総合評価		D		
●芸術・文化に関する施策が重要と回答する市民の割合 (総合計画に関する市民意識調査(市))						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	67.0	—	—	68.0
実績(%)	65.9	—	69.2	—	—	
達成状況		—	◎	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（3）－①	担当課	生涯学習課
施策	① 文化芸術活動の継承・創造		
取組	取組1 文化芸術活動の場及び体験できる機会の提供		
	取組2 文化賞表彰及び文化芸術賞賜金の授与		
	取組3 後継者育成への支援		
令和6年度の取組内容	<p>文化振興を図るため、加東市文化連盟、加東文化振興財団及び新しい風かとうを中心に各種文化芸能事業等を実施した。</p> <p>加東市文化連盟においては、公募美術展への支援、こども絵画展の実施など、文化芸術分野において自己の活動を通じ芸術文化に接する機会を提供した。</p> <p>市民がレベルの高い演奏に触れる機会を提供するため、東条文化会館で第35回日本木管コンクール（フルート部門）を開催した。開催にあたっては、WEB申込、WEB審査といった手法も引き続き取り入れ、多くの方が参加しやすいよう工夫した。</p> <p>また、文化芸術部門で優秀な成績を収めた個人に対して文化賞表彰及び文化芸術賞賜金を授与した。</p> <p>（文化芸術賞賜金の授与3人、文化賞表彰 荣誉賞2人、優秀賞3人、奨励賞3人、功労賞1人）</p> <p>無形民俗文化財の後継者育成事業に補助金（4件）を交付するとともに、技術指導や情報提供を行い、文化財の継続的な保存を支援した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>公募美術展においては、従来の受付に加え、令和4年度から導入したオンライン受付の申込件数も増え、出展数（380点）を増やすことができた。</p> <p>日本木管コンクール（フルート部門）においては、申込者91人、本審査73人、1次予選を動画による申込・審査によって行うなど工夫して開催し、市民にレベルの高い演奏に触れる機会（入場者延べ220人）を提供することで、文化芸術に対する関心を深めることができた。</p> <p>日頃の成果の発表や、市の文化の育成を目指すために、加東市文化連盟祭（芸能発表会）を開催し、延べ1,714人の来場があり、交流を深めるとともに文化の育成が図れた。</p> <p>無形民俗文化財の後継者育成への支援について、感染症対策を講じながら安全に取り組めることを事業者とともに考え、文化財の伝承を絶やすことなく後継者の育成に繋げることができた。（会合、稽古、祭典）</p>		

令和7年度の 課 題	<p>芸術・文化活動の振興を図るため、イベント等において、多世代の参加者・観覧者を集めるため、各事業に対して、より一層若い世代の参加が増える取組を企画し、実施するとともに、各種団体の活動を支援し、後継者の育成に努めていく。</p> <p>文化賞表彰及び文化芸術賞賜金について一般市民に広く周知し、文化芸術に関心を持つ市民の増加につなげていく。</p> <p>無形民俗文化財の後継者育成への支援について、歴史的価値を広く浸透させ、地域内外を交えた自発的な活動を促すとともに、伝承活動を維持できる方法を引き続き模索していく。</p>
---------------	--

施策体系コード	Ⅲ－（３）－②	担当課	生涯学習課
施 策	② 文化芸術団体への支援		
取 組	取組1 文化芸術団体の育成及び活動支援		
令和6年度の 取組内容	<p>加東市文化連盟、加東市美術協会、各文化団体に対し施設使用料を減免するなど の支援を行うことで、本市の文化芸術の活動を促進した。</p> <p>加東市文化連盟は、加盟団体の活動を支援するとともに、機関紙「かとう文化」 の発行、「加東市文化連盟祭」や「加東市こども絵画展」の開催を行い、活動の発表 の場及び芸術文化に触れる機会の提供に貢献した。</p> <p>加東市美術協会は、「加東市美術協会展」の開催のほか、本市主催の「加東市公募 美術展」においては、本市と連携して地域の文化芸術振興に貢献した。</p>		
令和6年度の 取組成果	<p>加東市文化連盟は、文化芸術分野において、自己の研鑽や生きがいづくり、コミ ュニティの増進等を目的とするサークル活動を支援し、市内の文化活動の受け皿と しての役割を果たすことができた。</p> <p>加東市美術協会の専門的な知見により、「加東市美術協会展」を通じ、質の高い文 化芸術に触れる機会を提供し、市民（来場者）の芸術文化に対する興味・関心や、 意識の向上に貢献した。</p>		
令和7年度の 課 題	<p>会員の高齢化・減少といった、社会教育団体の存続・活性化が難しい状況におい て、昨年度に引き続き、様々な団体等と連携を図るなど、工夫や変化を加えながら、 幅広い年齢層の参加を促す取組を展開できるように支援する。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（３）－①		公募美術展の延べ来場者数及び応募点数 (来場者名簿及び応募者名簿)				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	来場(人)	2,575	2,600	2,625	2,650	2,675
	応募(点)	443	445	448	451	454
実 績	来場(人)	2,525	1,901	1,538	1,525	1,672
	応募(点)	414	408	355	376	380
施策体系コード Ⅲ－（３）－②		加東市文化連盟及び加東市美術協会の各団体が主催する事業への参加 人数(各種事業の来場者名簿)				
年 度	基 準 値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値 (人)		2,339	2,391	2,443	2,497	2,552
実 績 (人)	2,240	1,496	1,529	2,441	2,505	

基本的方向（４）文化財の保護と活用・継承

1 成果指標による達成状況

基本的方向（４）文化財の保護と活用・継承		総合評価		D		
●芸術・文化に関する施策が重要と回答する市民の割合 (総合計画に関する市民意識(市))						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	67.0	—	—	68.0
実績(%)	65.9	—	69.2	—	—	
達成状況		—	◎	—	—	
●加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の来館者満足度 (来館者アンケート調査)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	80.6	—	—	86.6
実績(%)	—	91.5	95.7	—	—	
達成状況		☆	☆	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（４）－①	担当課	生涯学習課
施策	① 文化財等の保存と活用		
取組	取組1 文化財の調査と保護活動		
	取組2 埋蔵文化財の保護		
	取組3 文化財に関する情報発信		
令和6年度の取組内容	<p>文化財の調査と保護活動では、資料（倒伏していた道標）を調査の上、再建した。開発事業に伴う保護活動（文化財保護法に基づく試掘・立会調査・開発照会事務）を行うとともに、指定文化財の維持保存への支援事業（防火設備の管理3件、改修1件）を実施した。</p> <p>文化財に関する情報発信では、講座や教室等を開催（9件）し、各種メディアを通して広く発信（14回）した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>潜在する貴重な資料を保護し、作成された時代の文化を垣間見ることができた。開発事業に伴う調査では埋蔵文化財を適正に保護するとともに、指定文化財管理事業や修理事業では文化財の継続的な保存ができた。</p> <p>講座等の広報や普及啓発など文化財に関する情報発信を行うとともに、滝野地域小中一貫校建設関連工事に伴う発掘調査の現地説明会では、普段は見ることのできない貴重な遺跡に触れる機会となり、地域の歴史をより身近に感じることができた。</p>		
令和7年度の課題	<p>調査・保護事業で得た成果の公開や普及事業への活用を通じて、身近にある歴史を普及させることで、郷土への関心や愛着を高めていく。</p> <p>埋蔵文化財について、貴重な歴史的財産が亡失することのないよう、今後も保存活動を継続しながら、調査成果は積極的に公開していく。</p>		

施策体系コード	Ⅲ－（４）－②	担当課	生涯学習課
施 策	② 加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の活用や運営		
取 組	取組１ 加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の管理運営事業		
令和６年度の 取組内容	加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家について、施設見学、教室等の開催（５件）や無料開放事業を実施（４件）し、気軽に文化に触れる機会を提供した。また、老朽設備（自動ドア）を改修した。		
令和６年度の 取組成果	施設の開放とともに施設環境も改善し、安全・安心かつ快適に観覧できるようにしたことで、来館者の満足度も高い数値で推移した。		
令和７年度の 課 題	今後、新たな調査成果による展示公開や魅力的な情報を発信することで来訪を誘い、歴史文化への関心を高める必要がある。また、引き続き近接する文化施設や観光資源と連携し、企画展や講座等を開催することで幅広い層に普及啓発を図っていく。		

施策体系コード	Ⅲ－（４）－③	担当課	生涯学習課
施 策	③ 歴史文化に根差した地域の活性化		
取 組	取組１ 文化財保存を通じた地域活動への支援 取組２ 文化財による地域交流、観光資源化		
令和６年度の 取組内容	歴史文化を通じた地域のまちづくり活動で講演を行った。 市ホームページで指定文化財を紹介し、歴史文化の醸成を図ることで観光への誘導や地域交流を促進した。		
令和６年度の 取組成果	地域の事業において地元の文化財について解説することで、郷土史への関心と理解を深める機会となった。 市内外の歴史を愛好する方々への情報発信を弛まず行うことで、関心を途切れさせずことなく、地域交流の土壌や観光資源としての基盤がより強固になった。		
令和７年度の 課 題	地域発信による取組を更に加速させるため、積極的に支援していく。 地域の伝統芸能や行事の伝承を促し、文化財を通じた地域内外の交流と観光流入を後押しすることで、歴史文化に根差したまちづくりを一層進め、地域興しをさらに高めていく。		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（４）－①		企画展等開催数及びメディアの活用回数 （事業の開催及び啓発回数調査）				
年 度	基 準 値 （令和元年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目 標 値	企画展等 （回）	11	11	12	13	14
	メディア （回）	14	14	15	15	16
実 績	企画展等 （回）	10	17	20	9	9
	メディア （回）	14	20	19	13	14
施策体系コード Ⅲ－（４）－②		加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の来館者数 （来館者名簿）				
年 度	基 準 値 （令和２年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目 標 値（人）		1,380	1,450	1,475	1,500	1,525
実 績（人）	1,328	672	811	516	584	

基本的方向（５）生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進

1 成果指標による達成状況

基本的方向（５）生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		総合評価		D		
●スポーツ活動の支援が重要と回答する市民の割合 (総合計画に関する市民意識調査(市))						
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	80.0	—	—	86.0
実績(%)	69.9	—	70.7	—	—	
達成状況		—	↑	—	—	
●スポーツ活動の支援に満足していると回答するスポーツ推進委員の割合 (スポーツ推進委員のアンケート調査)						
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		—	79.1	—	—	85.1
実績(%)	—	—	82.8	—	—	
達成状況		—	◎	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（５）－①	担当課	生涯学習課
施策	① 生涯スポーツの振興とコミュニティづくりの支援		
取組	取組1 多世代交流ができる機会の提供		
	取組2 加東伝の助マラソン大会		
	取組3 陸上教室等の専門技術向上事業		
令和6年度の取組内容	<p>多世代交流の機会として、加東市わくわくウォーキングを企画し、小学生からご高齢の方までの合計168人にご参加いただき、多世代の交流機会を提供した。</p> <p>また、加東伝の助マラソン大会（参加者数：1,061人）をはじめ、小学生陸上競技大会（参加者数：246人）、ロードレース大会（参加者数：58人）などを安全に開催した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>多世代交流の機会となるわくわくウォーキングについては、小学生チャレンジスクールとの連携事業としたことで、過去最高の参加者数となった。</p> <p>参加者同士や親子の交流につながり、健康増進やコミュニティづくりにも寄与することができた。</p> <p>加東伝の助マラソン大会などへの参加者に対しては、健康の増進や技術向上など、大会の主旨に沿った機会を提供することができた。また、キッチンカーによる飲食ブースを配置したこともあり、前年参加者数に対し約1割の増となった。</p>		
令和7年度の課題	<p>実施内容の工夫等により参加者が増えた事業がある一方で、参加者がほぼ固定かつ減少傾向の事業もある。参加者が増えた事業については企画・運営に係る負担が増大するので、ニーズの高い事業は拡大を、そうでない事業は縮小もしくは廃止を検討していく。</p>		

施策体系コード	Ⅲ－（５）－②	担当課	生涯学習課
施 策	② スポーツ団体の支援		
取 組	取組１ 各種スポーツ団体等への活動支援		
	取組２ 自主的なスポーツサークルの支援		
	取組３ スポーツ賞表彰及びスポーツ賞賜金の授与		
令和６年度の 取組内容	<p>スポーツ協会加盟 17 団体、スポーツ少年団加盟 22 団体及び体育施設公益活動登録団体等に対し、スポーツに対する取組を支援するために施設使用料の減免や施設利用調整を行った。</p> <p>また、優秀な成績を収めた個人及び団体に対してスポーツ賞表彰及びスポーツ賞賜金を授与した。</p> <p>（スポーツ賞賜金の授与 9 人・2 団体、スポーツ賞表彰 荣誉賞 8 人、優秀賞 22 人・1 団体、奨励賞 26 人・3 団体、スポーツ協会長表彰 3 団体）</p>		
令和６年度の 取組成果	<p>施設使用料の減免や施設利用調整を行うことで、スポーツ活動団体やスポーツサークル等の取組を支援し、健康保持・増進、地域コミュニティの育成につなげた。</p> <p>また、スポーツ賞表彰を行うことで、スポーツに対する意識の向上が図れた。</p>		
令和７年度の 課 題	<p>指定管理者による管理運営は順調に行われており、市管理と同程度の水準を利用者に提供できている。一方で、体育施設公益活動登録団体等（減免団体）が多数の予約を行う、学校統合により活動場所が社会体育施設に移行する、といった事情により、希望する日時に予約できないという声が利用者より挙がっている。</p> <p>優秀な成績を収めた個人及び団体への表彰等については、積極的な対象者の情報収集に努めていく。</p>		

施策体系コード	Ⅲ－（５）－③	担当課	生涯学習課
施 策	③ スポーツ等指導者の育成		
取 組	取組１ スポーツ等指導者の育成		
令和６年度の 取組内容	<p>ふれあい球技大会の一部（ペタンク・ゲートボール）は雨天中止となったが、地区親善ソフトボール大会、わくわくウォーキングなどをスポーツ推進委員の企画・運営により開催した。</p> <p>また、スポーツ推進委員の新規加入者の募集や、地区の社会体育指導者として社会体育推進委員の選出の促進を行った。</p>		
令和６年度の 取組成果	<p>各事業を開催することで、スポーツ推進委員や社会体育推進委員の技能向上や、指導力の向上を図ることができた。スポーツ推進委員は 6 人の新規加入があった。</p> <p>地区の社会体育推進委員については、区長会を通じて選出を依頼したが、131 人にとどまった。</p>		
令和７年度の 課 題	<p>スポーツ推進委員が主管する各種事業の継続開催と、月例会での意見交換・ニュースポーツ研修などにより、推進委員全体の指導技能向上を図る必要がある。出席できる委員によって負担の程度が異なるので、まんべんなく参加できるよう事業計画を策定していく。</p> <p>また、引き続き、各地区に社会体育推進委員の必要性を伝え、選出していただくよう依頼していく。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（５）－①		加東伝の助マラソン大会の参加人数 （参加者名簿）				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値（人）		1,660	1,670	1,680	1,690	1,700
実 績（人）	1,647	中止	910	978	1,061	
施策体系コード Ⅲ－（５）－③		スポーツ推進委員の人数 （参加者名簿）				
年 度	基 準 値 (令和２年度)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値（人）		19	25	26	27	28
実 績（人）	18	19	18	17	20	
施策体系コード Ⅲ－（５）－③		社会体育推進委員の人数 （登録者名簿）				
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値（人）		143	185	185	185	185
実 績（人）	141	137	138	138	131	

基本的方向（6）社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営

1 成果指標による達成状況

基本的方向（6）社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営		総合評価		D		
●施設設備について満足していると回答する施設使用団体の割合 （施設使用団体アンケート調査）						
年 度	基準値 （令和元年度）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（%）		—	79.1	—	—	85.1
実績（%）	—	—	90.0	—	—	
達成状況		—	☆	—	—	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（6）－①	担当課	生涯学習課
施 策	① 施設の適切な維持管理・運営		
取 組	取組1 適切な維持管理・運営		
令和6年度の 取組内容	社会教育施設については、地域交流センター屋上防水・外壁・内装・LED照明改修工事、やしろ国際学習塾変電設備・ケーブル更新工事、滝野公民館空調・LED照明改修工事等を実施した。 社会体育施設については、社第二グラウンドテニスコート補修修繕等を実施した。		
令和6年度の 取組成果	社会教育施設及び社会体育施設の改修・修繕を行うことで、市民が安全に施設を利用することができた。		
令和7年度の 課 題	施設改修に関しては、改修期間中は利用制限があり、利用者への周知と調整が必要である。 指定管理者制度を導入している施設について、更なる市民サービス向上・質の高い施設の管理・運営を求めていく。		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（6）－①		施設使用状況 （使用者名簿）				
年 度	基準値 （令和元年度）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（人）		521,600	524,200	524,500	524,700	525,000
実績（人）	—	368,638	462,039	446,249	446,760	

基本的方向（7）図書館サービスの充実

1 成果指標による達成状況

基本的方向（7）図書館サービスの充実		総合評価		B		
●貸出密度（市民一人当たりの年間貸出冊数） （公共図書館調査（日本図書館協会））						
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(冊)		11.3	11.4	11.5	11.6	12.0
実績(冊)	11.1	12.9	12.6	11.4	11.1	
達成状況		◎	◎	↘	↘	
●予約（リクエスト含む）対応件数 （公共図書館調査（日本図書館協会））						
年 度	基 準 値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(冊)		42,900	43,200	43,500	43,800	44,100
実績(冊)	42,624	59,548	54,087	49,901	50,468	
達成状況		◎	◎	◎	◎	

2 施策ごとの取組評価

施策体系コード	Ⅲ－（7）－①	担当課	中央図書館
施 策	① 魅力ある蔵書の整備と情報発信		
取 組	取組1 資料の収集（図書・リクエスト図書・郷土資料・雑誌等）		
	取組2 充実した予約サービスと資料貸出の実施		
	取組3 情報発信の拡充		
	取組4 学校との連携		
令和6年度の 取組内容	リクエスト図書など図書館利用者の利用傾向に応じた資料の購入・収集を行った。 郷土資料の修繕時に併せて電子データを作成した。 図書館システムでの検索でweb上に書影が出るように改修した。 ホームページでの情報発信にLINE連携を加え、迅速に情報提供した。 学級単位で求められる資料を提供した。		
令和6年度の 取組成果	図書館システムで図書の表紙の写真が出ることで、利用者がイメージしやすいようになったため、予約件数が増加した。		
令和7年度の 課 題	今後も継続して、利用者の要求に応えるリクエスト図書や利用傾向に合わせた図書館資料の収集により、魅力ある蔵書づくりに努める。		

施策体系コード	Ⅲ－（７）－②	担当課	中央図書館
施策	② 図書館利用の推進		
取組	取組1 読書活動推進事業（行事）の実施		
	取組2 「はじめてであう絵本」「人権絵本の読み聞かせ」の実施		
	取組3 館内施設の活用		
	取組4 学校との連携		
	取組5 図書館利用が困難な市民への対応		
令和6年度の取組内容	<p>幼児・小学生を対象にした「おはなし会」や幅広い年齢層の市民を対象とした読書活動推進事業を実施した。健康課や人権協働課と連携し、4か月児健診時に「ブックスタート事業」、隣保館で「人権絵本の読み聞かせ」を実施した。学校と連携し、「おとどけ図書館」や「おでかけ図書館」を実施した。また、図書館利用が困難な市民に対して宅配サービスを実施した。</p>		
令和6年度の取組成果	<p>「おでかけ図書館」にほとんどの小学校が参加し、小学3年生に自身のとしょかんカードで本を借りる体験をしてもらい、図書館に関心を持ってもらえた。</p> <p>読書活動推進事業として、初めて行う行事や既存の行事を工夫して立案・実施できた。</p> <p>「ブックスタート事業」を8月から実施し、多くの保護者から喜ばれた。</p> <p>夏季には館内に熱中症対策の休憩スペースを設け、利用者に安心安全の空間を提供できた。学校には「おとどけ図書館」に加え、学級単位に団体貸出を実施し要望に応えることができた。</p> <p>図書館利用が困難な利用者に対して、図書の宅配サービスが実施できた。</p>		
令和7年度の課題	<p>小学校の数が減るので、「おとどけ図書館」の実施について工夫が必要になる。</p> <p>図書館利用困難者に対して、さらに図書の宅配サービスを充実させるよう努める。</p>		

3 取組指標の達成状況

施策体系コード Ⅲ－（７）－①		予約件数に占める購入冊数の割合 (公共図書館調査(兵庫県立図書館))				
年度	基準値 (令和元年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)		4.2	4.4	4.6	4.7	5.0
実績(%)	3.8	2.7	2.3	2.4	2.1	
施策体系コード Ⅲ－（７）－②		読書活動推進事業(ヨミカツ!)の実施回数 (加東市図書館年報)				
年度	基準値 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(回)		8	8	9	9	10
実績(回)	7	13	14	16	20	

評価委員所見

評価委員

所見（特にコメントすべきことがあれば）	
こども園・学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校において、東条学園ではステージ制を意識してのリーダーシップの育成が図られている。来年度以降開校する社会学園・滝野学園は、それぞれ規模や実情が異なると思われるので、それに応じてどのように児童・生徒の学力、豊かな心、健やかな体を育成していくのかを考えることにより、小中一貫校ならではの良さや地域の特徴を生かした取り組みができると考える。 ・従前からの「わくわく英語村」、「英検チャレンジ事業」、に加え、「ジョリーフォニックス指導」など英語教育の充実が図られおり、さらなる英語力の向上が期待できる。 ・7年度への課題である0歳児から2歳児を受け入れる小規模保育事業所の開設準備については、受け皿の拡充のためには進める必要を大いに感じる。
社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動の地域移行について、検討委員会で議論が進められているが、教職員、保護者、スポーツ団体へのアンケートからも課題や懸念も出てきている。実証事業からの課題の検証となっているが、児童・生徒はどう受け止めているのかという視点も入れるべきだと考える。 ・図書館利用の推進について、学校との連携やクーリングシェルターのように他課との連携、さらに宅配サービスの充実など積極的な取り組みが感じられる。
教育行政	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による社会体育施設の管理運営は順調のようだが、利用者の施設予約が取れない状況については、社会教育・生涯スポーツ振興の点からもスムーズな対策と改善が必要と考えられる。また、小中一貫校を含めた学校の体育施設の一般開放はどうなっていくのかその方針を利用者等に示すことの必要性を感じる。

総 評
<p>取り組みの内容ごとにその成果と次年度の課題がまとめられ、PDCAサイクルが生かされている。今後もこの手法を継続してほしい。</p> <p>第3期加東市教育振興基本計画では3つの基本方針と16の基本的方向に沿って、「成果指標」や「取組指標」を年度ごとに設定し、毎年評価・検証を行いながら推進してきている。この第3期を受け、改善しながら着実に第4期加東市教育振興基本計画の策定へ結び付けていく必要があると考える。</p>

評価委員所見

評価委員

所見（特にコメントすべきことがあれば）	
こども園・学校教育	<p>東条学園小中学校に続いて、来年度からの社会学園小中学校、滝野学園小中学校の開校に向けて、様々な教育的準備がなされていることがよく伺われる。学力保障はもちろんであるが、「小中一貫校としての学び」の系統性探求に継続して取り組んでほしい。その際に重要なことは、これまでの「小中一貫教育」研究が示すように、小学校と中学校の教員文化のギャップの解消である。一貫的な教育をするにはそこに関わる教員の意識改革しかなく、そのための研修等を充実することを切に期待する。</p>
社会教育	<p>既存、あるいは当初予定の事業に順調に取り組んでいることは理解できる。しかし一方では、加東市に限らず、「社会教育・生涯学習体制の根本的見直し」が必要な時期に来ているのではないだろうか。単純な費用対効果という視点での検討は良くないが、前例踏襲の事業展開ではなく、今後は「精選・縮小」が不可欠と思われる。そのために次期の教育振興基本計画策定に向けて、来年度から具体的な検討を開始してほしい。</p>
教育行政	<p>超過勤務時間が100時間・80時間超えの教職員がかなりいることは緊急に是正すべき課題である。教育業務の単純な割り切りは難しいため、当該学校管理職の指導・学校経営に任せるだけでなく、教育委員会が率先して具体的な指針を出していく必要がある、それがすべての教職員が働きやすい職場の実現、しいては、子どもへの良い教育の基盤となると考える。</p> <p>また、上記の「社会教育」の記述とも関わるが、地区単位での「社会体育推進委員」の設置は現在においても有効だろうか。具体的な調査・把握に基づいた行政的判断が求められる。</p>

総 評
<p>部活動の地域移行・展開は、学校から部活動を無くす・地域に任せるという議論ではなく、「中学校における学校教育のあり方を再考する」機会と前向きに捉えなければならない。と同時に、硬直した「社会教育システムを再構築する」絶好の機会でもあり、子どもたちだけでなく、成人の文化・スポーツ活動への関わり方を市全体で議論していくことが不可欠である。そのためには市民への理解・周知を進めつつも、早急に市として具体的方針を策定しつつ行政が積極的にリードしていくことをお願いしたい。</p>